

ドーム型 IP カメラ(バンダプルーフ)

LC-N620A

取扱説明書



お客様へ

このたびは、弊社製品をお買い上げ頂きありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 ケービデバイス

限定保証

(株)ケービデバイスは、LC-N620A が頒布されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証致します。

したがって、(株)ケービデバイスは、弊社へ返送して頂いたもので、弊社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、弊社の責任の元で修理、もしくは交換を致します。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年間かつ日本国内で使用される LC-N620A についてのみ有効なものとなります。

免責事項

(株)ケービデバイスは、市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のもは一切保証致しません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。お客様は、LC-N620A の使用、ならびに LC-N620A を使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。この保証は、最初の購入者であるお客様に対して適用され、お客様が LC-N620A を転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは、第三者からの、または第三者の為に成すお客様のいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下に挙げる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

- ① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により LC-N620A の不具合が発生した場合。
- ② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用、その他の異常な条件下での使用により LC-N620A の不具合が発生した場合。
- ③ お客様が、LC-N620A に手を加えて改造、修理を行った場合。
- ④ ユーザーシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害など。

目次

安全にお使い頂くために.....	5
使用上のご注意.....	8
1 章 本製品について.....	1-1
1-1 同梱品.....	1-1
1-2 カメラ各部の名称.....	1-2
1-3 ドームカバーの取り外し.....	1-3
1-4 カメラを工場出荷状態に戻す.....	1-3
1-5 カメラの設置.....	1-4
1-6 カメラの接続.....	1-7
1-7 マイクロ SD カードについて.....	1-8
2 章 クライアント PC からの接続.....	2-1
2-1 VLC media player のインストール.....	2-1
2-2 IP Installer による IP アドレスの設定.....	2-3
2-3 ブラウザからのアクセス.....	2-7
2-4 ライブ画面.....	2-9
2-5 言語の変更.....	2-11
3 章 各種設定.....	3-1
3-1 ビデオ & 音声.....	3-2
3-1-1 ビデオ設定.....	3-2
3-1-2 オンスクリーン表示(OSD)設定.....	3-5
3-1-3 関心領域(ROI 機能)設定.....	3-6
3-1-4 プライバシーマスク設定.....	3-8
3-2 カメラ.....	3-11
3-2-1 プロファイル設定.....	3-11
3-2-2 画像調整.....	3-13
3-2-3 露光設定.....	3-15
3-2-4 デイ&ナイト設定.....	3-17
3-2-5 逆光設定.....	3-19
3-2-6 ホワイトバランス.....	3-21
3-2-7 画像処理.....	3-23
3-2-8 ビデオ処理.....	3-25
3-3 ネットワーク.....	3-26
3-3-1 ネットワーク状態.....	3-26
3-3-2 ネットワーク設定.....	3-27
3-3-3 UPNP 設定.....	3-28
3-3-4 DDNS 設定.....	3-29

3-3-5	FTP 設定.....	3-30
3-3-6	SMTP(メール送信)設定.....	3-31
3-4	トリガー動作.....	3-33
3-4-1	動作ルール設定.....	3-33
3-4-2	画像転送設定.....	3-35
3-5	イベント.....	3-36
3-5-1	イベントルール設定.....	3-36
3-5-2	スケジュール設定.....	3-39
3-5-3	モーション検知設定.....	3-40
3-5-4	温度.....	3-43
3-6	録画.....	3-44
3-6-1	録画設定.....	3-44
3-6-2	録画リスト.....	3-49
3-6-3	ストレージ設定.....	3-53
3-7	セキュリティ.....	3-55
3-7-1	IP アドレスフィルター設定.....	3-55
3-7-2	RTSP 認証設定.....	3-59
3-8	システム.....	3-60
3-8-1	システム情報.....	3-60
3-8-2	ファームウェア更新.....	3-61
3-8-3	日付と時刻の設定.....	3-63
3-8-4	DST 設定.....	3-65
3-8-5	ユーザー管理.....	3-66
3-8-6	システムログ.....	3-72
3-8-7	言語.....	3-74
3-8-8	デフォルト設定.....	3-75
3-8-9	再起動.....	3-76
4 章	工場出荷時の設定一覧.....	4-1
5 章	製品仕様.....	5-1
6 章	外形寸法.....	6-1

安全にお使い頂くために

- ・ LC-N620A をご使用になる前に、必ず本書をよく読んでください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点などがある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本書を十分理解せずに LC-N620A をご使用にならないでください。
- ・ LC-N620A の仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ LC-N620A は、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置などの人命、事故に関わる特別な品質、信頼性などが要求される用途でご使用にならないでください。
- ・ LC-N620A は、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。
- ・ 第三者からの不正アクセス防止の為、パスワードは必ず変更してください。
- ・ 本書に載っている挿絵は、実際のもものと若干異なる場合があります。

【 表示および図記号について 】

本書では、本製品を安全に正しくご使用頂くために、さまざまな表示をしています。

内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

注意記号	禁止記号	指示記号
	  	  
一般注意	一般禁止 接触禁止 分解禁止	一般指示 電源を抜く アース接続



警告

正しくご使用頂けない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

- **水にぬらさない**



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所(温度、湿度変化の激しい場所)や水の入る場所に設置しないでください。

- **指定の電源電圧を超えない**



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

- **分解、改造をしない**



本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

- **液体や金属片を上に乗かない、挿入しない**



本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

- **異常が発生したとき**



以下の場合には直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- ・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

- **落雷時は触れない**



落雷があったときは、本体やケーブルに触れないでください。感電の恐れがあります。落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用頂けない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● めれた手で触れない



濡れた手で本体およびケーブルに触れないでください。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない



ケーブル類を通路に置いたままにしないでください。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。
異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。

● 使用する場所に注意



以下の場所で使用または保管しないでください。

- ・ 温度が極端に低い、高い場所
- ・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- ・ 埃が多い場所
- ・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレホンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● 法規に準拠した廃棄を



本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上のご注意

仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。

強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。

電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、本製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようにしてください。

本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性があります。

その場合、使用中のデータの損傷や記録ができないことがあります。

無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。

本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。

しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動に繋がる場合があります。

本製品は、外部機器(センサー、オーディオ機器、PC、レコーダーなど)と接続して使用するため、外部要因による誤作動の恐れがあります。

安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。

本製品から出力される映像情報は個人情報やプライバシーに係わる機密情報が含まれる場合があります。

「個人情報保護法」に準拠した取り扱いを実施されることを推奨致します。

本製品は、精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。

火災や感電、本体の破損に繋がります。

運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を弊社は負うことができません。

あらかじめご了承ください。

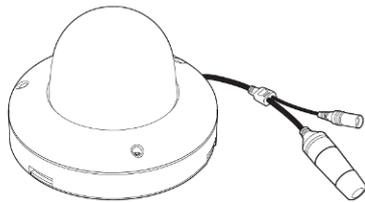
本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。

(ハードウェア、ソフトウェア、文書など)

1章 本製品について

1-1 同梱品

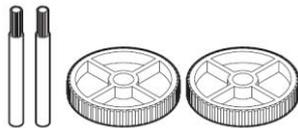
本製品には、以下のものがセット内容となっています。全ての同梱品が含まれているかご確認ください。



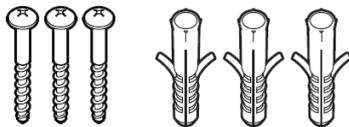
カメラ本体 1個



特殊形状レンチ 1本



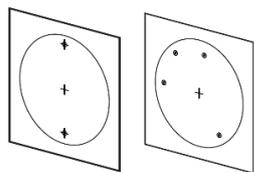
取り付けボルト&ナット 各2個



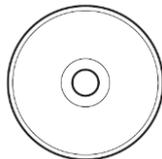
タッピングビス&アンカー 各3本



LAN ケーブル保護キャップ 1個



テンプレートシート 2種類

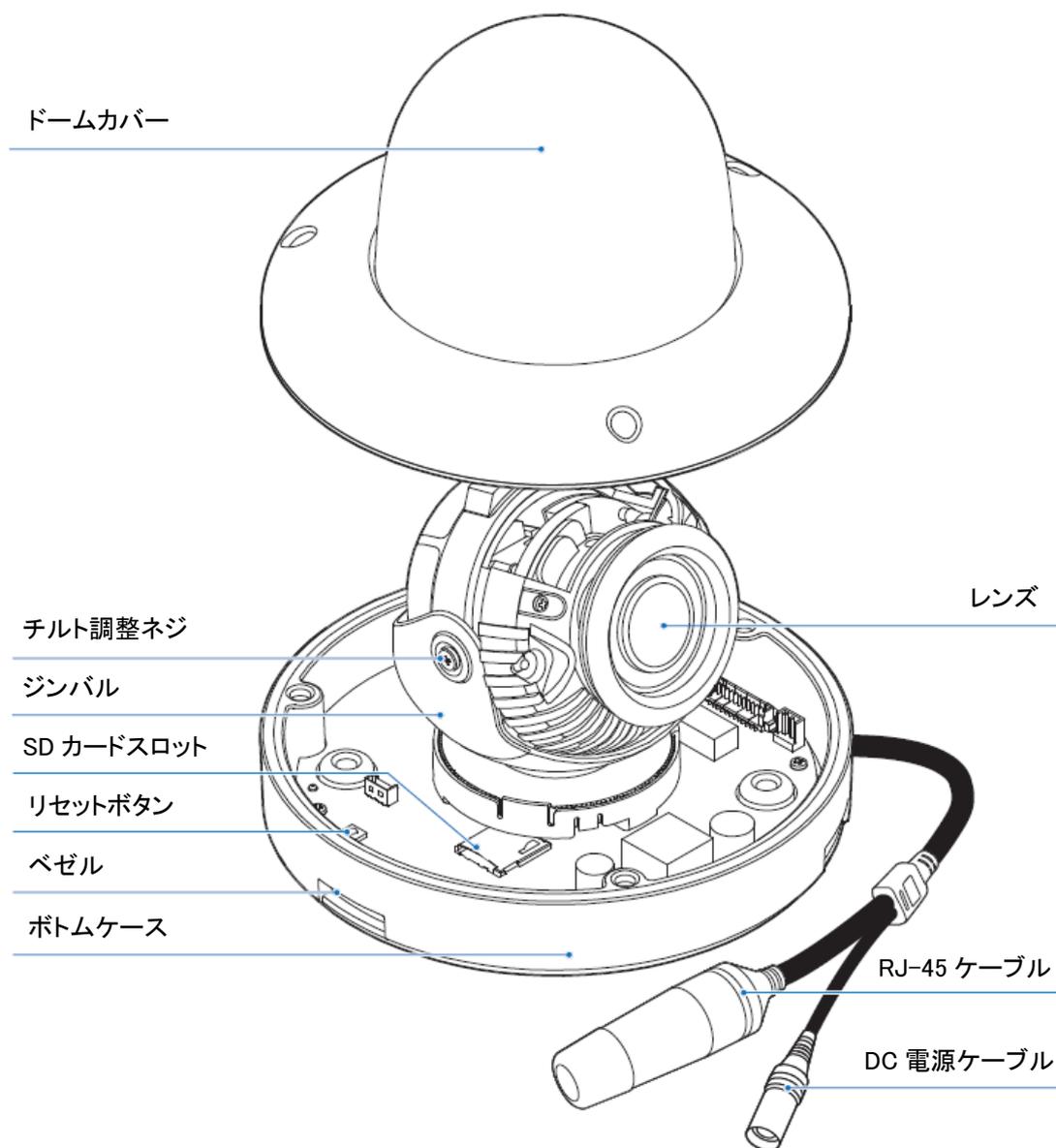


CD-ROM 1枚



簡易取扱説明書 1部

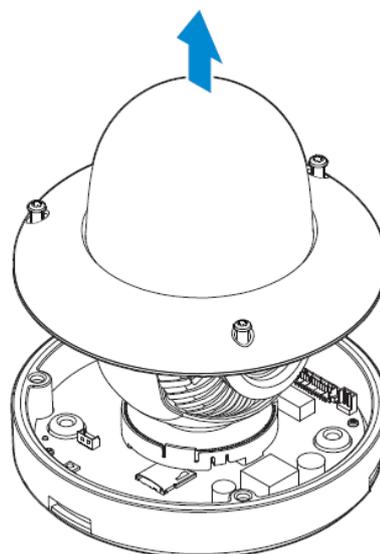
1-2 カメラ各部の名称



1-3 ドームカバーの取り外し

本製品は、設定をリセットする場合や画角を調整する際は、ドームカバーを取り外す必要があります。以下の手順で、ボトムケースからカメラドームカバーを取り外すことができます。

1. ドームカバーの3本のビスを
付属の特殊形状レンチを使って取り外します。
2. ドームカバー部をゆっくりと持ち上げて
ボトムケースから分離します。
※ドームカバーを傷つけないようお取り扱いください。

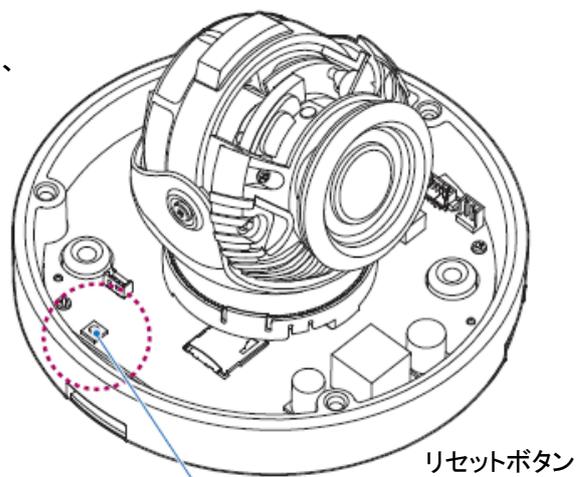


1-4 カメラを工場出荷状態に戻す

本製品の変更した設定を全て初期状態に戻すことができます。リセットを行う場合、事前にドームカバーを取り外しておく必要があります。カバーの取り外し方法については、「1-3 ドームカバーの取り外し」をご覧ください。

カメラ動作中にリセットボタンを5秒間押し続けることで、本製品の内部設定が全て初期化されます。

※ネットワーク設定値も初期化されるため、リセットを行う場合は、注意してください。



1-5 カメラの設置

【 カメラ設置時の注意事項 】

カメラを設置する際は、下記項目によくお読みになり、十分ご注意ください。

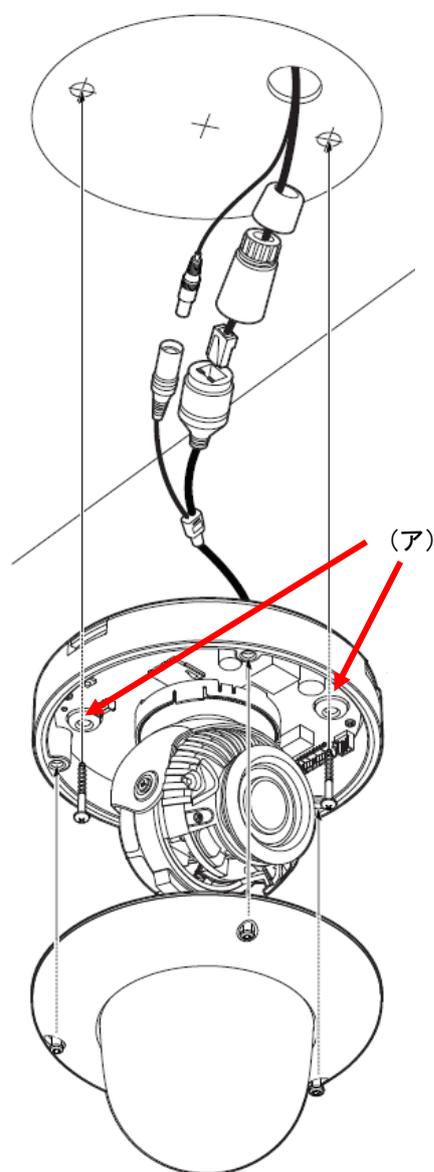
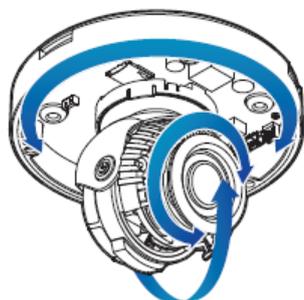
- カメラの設置後は必ず、カメラと壁/天井が接触している部分や、ネジ穴部分にコーキングを施してください。雨水などが浸水し、カメラが故障する恐れがあります。
- コーキングを施す際は、水抜け穴は埋めないようにしてください。
- 設置場所が、カメラの重量に耐えられることを確認してください。
設置場所の強度が不足していると、カメラが落下し、怪我をする恐れがあります。
- 壁/天井の設置面によって、カメラの設置手順が異なります。
設置予定の場所をよく確認し、それぞれの手順に従って設置作業を行ってください。
 - 屋内および屋外に設置する場合 … 「カメラ設置手順 パターン 1」をご覧ください。
 - 設置面の板厚が薄い場合 … 「カメラ設置手順 パターン 2」をご覧ください。

本製品は、必ず凹凸がなく平らな面に設置してください。

【 カメラ設置手順 パターン1 】

本製品を屋内または屋外に設置する場合は、以下の手順でカメラを設置してください。

1. カメラのドームカバーを取り外します。
取り外し方法については、
「1-3 ドームカバーの取り外し」をご覧ください。
2. テンプレートシートを使用して、壁/天井に
ケーブル通し穴をあけます。
3. LAN ケーブルと電源ケーブルを
それぞれ接続します。
4. カメラ本体底面にある2つのゴム栓(ア)を取り外し、
ボトムケースを壁/天井に固定します。
5. 3つのジンバル軸を動かして、画角を調整します。
カメラのレンズ部は、以下のように動かすことができます。



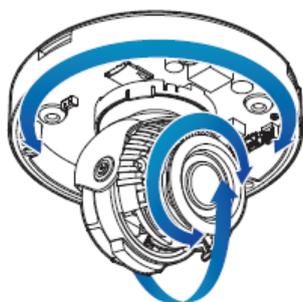
6. ドームカバーをボトムケースに取り付けます。
7. ドームカバーの固定ビスを締めて、カメラ本体が設置面から落ちないことを
確認します。

以上で、設置作業は完了となります。

【 カメラの設置手順 パターン 2 】

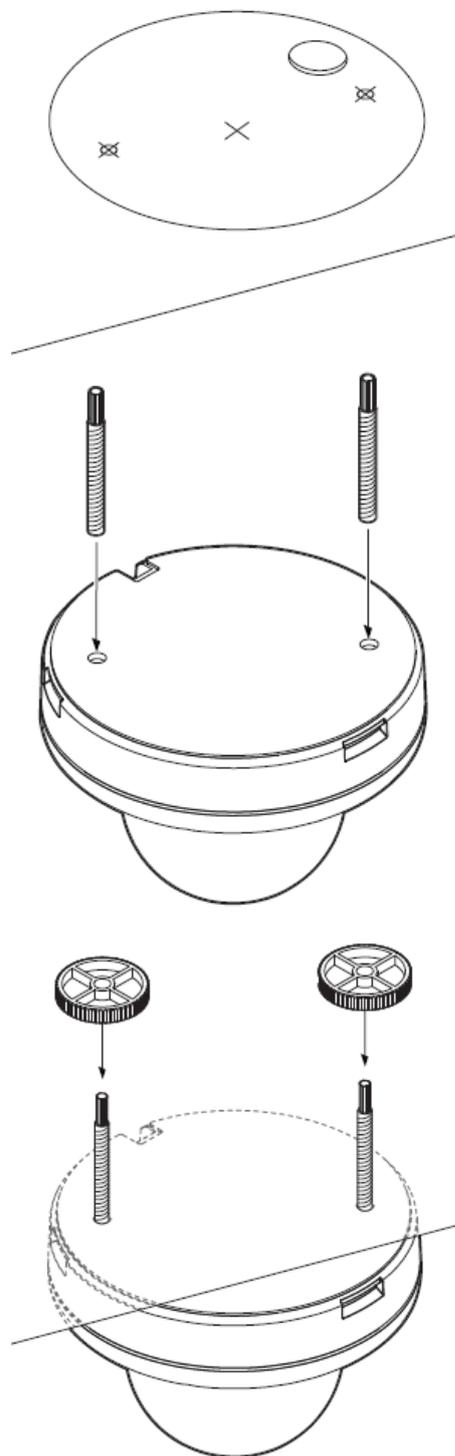
設置面の板厚が薄い場合は、以下の手順でカメラを設置してください。

1. カメラのドームカバーを取り外します。
取り外し方法については、
「1-3 ドームカバーの取り外し」をご覧ください。
2. テンプレートシートを使用して、壁/天井に
ケーブル通し穴とボルト通し穴を作ります。
3. カメラのボトムケースに 2 本のマウントボルトを
挿し込みます。
4. LAN ケーブルと電源ケーブルを接続後、
ボルトをボルト通し穴に挿し込みます。
5. ナットを締めながら、ボトムケースを固定します。
6. 3 つのジンバル軸を動かして、画角を調整します。
カメラのレンズ部は以下のように動かすことができます。



7. ドームカバーをボトムケースに取り付けます。
8. ドームカバーの固定ビスを締めて、
カメラ本体が設置面から落ちないことを確認します。

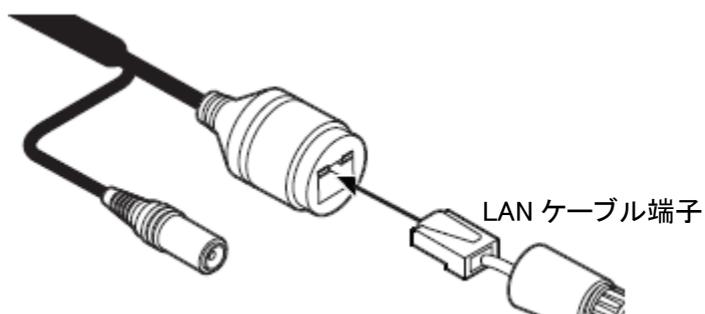
以上で、設置作業は完了となります。



1-6 カメラの接続

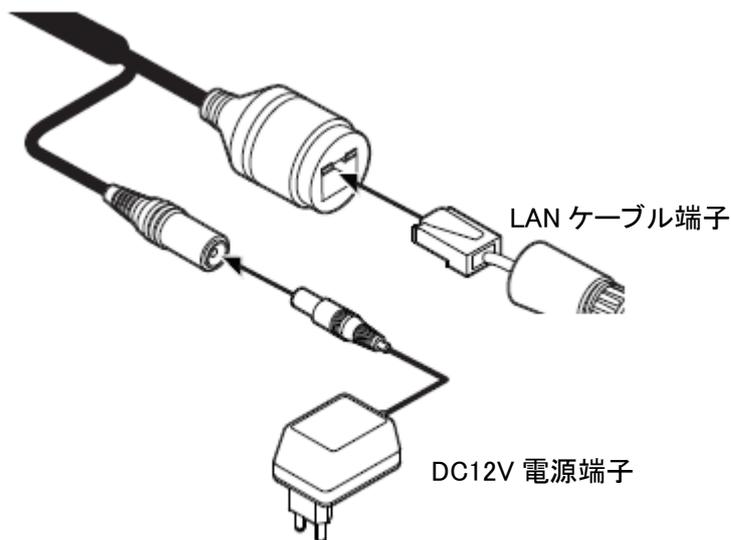
本製品は、クライアント PC やネットワークビデオレコーダーなどに接続して運用します。
本製品の電源供給方法によって接続の仕方が異なります。
状況に合わせて、下図のように接続してください。

- LAN ケーブル ※PoE 電源供給を行う場合



LAN ケーブルを RJ-45 コネクタの接続口に差込みます。
※カテゴリ-5e または 6HV の STP ケーブルで 100m 以内になるように配線を行ってください。

- 2 芯ケーブル(DC12V 電源用) ※PoE 電源供給を行わない場合



【 注意 】

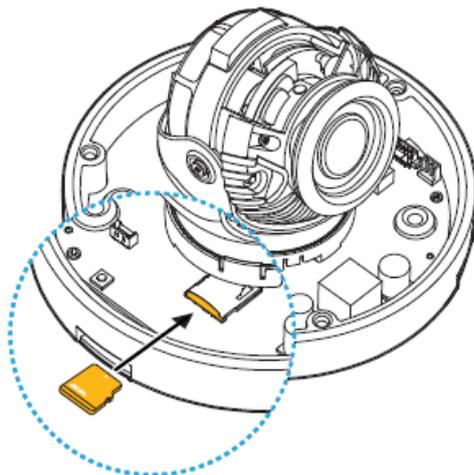
- PoE HUB を使用する場合は、DC12V 電源端子は使用しないでください。
機器が故障する恐れがあります。

1-7 マイクロ SD カードについて

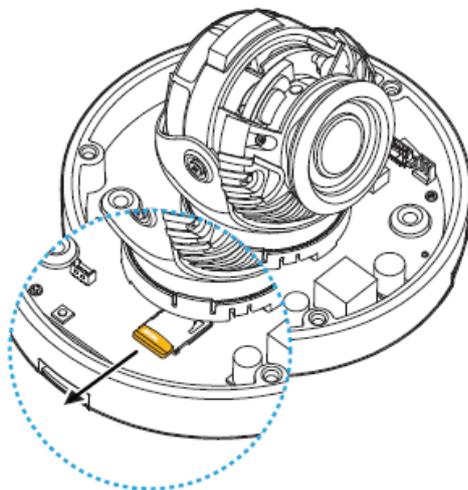
本製品は、マイクロ SD カードを挿入し、撮影映像やテキストデータなどを記録することができます。

マイクロ SD カードの向きに注意して、カメラ本体底面の SD カードスロットに挿入してください。

※マイクロ SD カードは、弊社推奨品をご使用ください。



マイクロ SD カードを取り出す場合は、ゆっくりとマイクロ SD カードを押し込むことでスロットから取り外すことができます。



【 注意 】

- マイクロ SD カードを取り外す場合は、必ずカメラの電源を切ってから行ってください。内部のデータが破損する恐れがあります。

2章 クライアント PC からの接続

本製品にクライアント PC のブラウザから接続し、ライブ画面表示や設定変更などを行います。
なお、本製品にアクセスする場合は、お使いの PC に「VLC media player」がインストールされているかをご確認ください。

インストールされていない場合は、「2-1 VLC media player のインストール」をご覧ください。

2-1 VLC media player のインストール

クライアント PC から本製品にアクセスする前に「VLC media player」をインストールする必要があります。
以下の手順で、VLC media player をインストールしてください。

なお、この作業を行う前にあらかじめクライアント PC をインターネットに接続してください。

1. <http://www.videolan.org> にアクセスします。

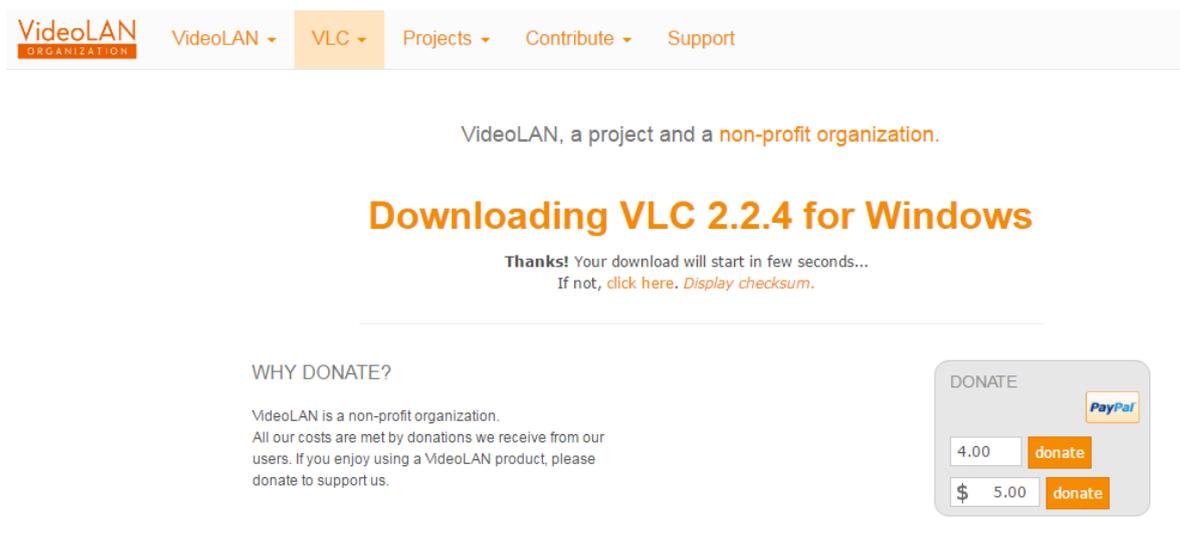
The screenshot shows the top navigation bar of the VideoLAN website with links for 'VideoLAN', 'VLC', 'プロジェクト', '支援と貢献', and 'サポート'. There are also donation buttons for '€4.00' and '\$5.00'. Below the navigation bar, there is a text block: 'VideoLAN, このプロジェクト、および 非営利の組織について。' and a 'パートナー' logo for 'medialia'. The main content area features a grid of video thumbnails on the left and a large blue button labeled 'ダウンロード VLC' on the right. Below the button, it says 'Version 2.2.4 - Windows - 28 MB' and '145,262,093 までダウンロード'. At the bottom, there are icons for Windows, Linux, macOS, Android, and iOS.

2. 「ダウンロード VLC」をクリックします。

This screenshot is identical to the previous one, but the 'ダウンロード VLC' button is highlighted with a red rectangular box to indicate the click action.

クリック後、ダウンロードページに移動します。

- ダウンロードページに移動後、自動的に VLC Media Player がダウンロードされます。



- ダウンロード後、アプリケーションを実行し、画面の指示にしたがってインストールしてください。



2-2 IP Installer による IP アドレスの設定

以下の手順で、付属のソフトウェアから、本製品の IP アドレスを変更することができます。

1. 本製品に同梱されている CD-ROM を読み込みます。



2. CD-ROM 内の「IP Installer V2.exe」を起動します。

起動すると以下の画面が表示されます。

※カメラに接続されていないネットワークアダプターはあらかじめ「無効」にしてください。

The screenshot shows the IP_Installer (2.1.0.2) application window. The main area displays a table with the following data:

NO	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	PRODUCT NAME	MANUFACTURER	FIRMWAREVERSION	
<input type="checkbox"/>	1	00:0D:F1:20:DD:98	192.168.1.80	N582-ALAH2	IPNC	1.00.06_20161013

The right-hand side of the window contains several configuration sections:

- Device Info:** Model Name field.
- IP Setting:** Radio buttons for **STATIC** (selected) and **DHCP**. Fields for IP, Subnet Mask, Gateway, and DNS.
- Port Setting:** Fields for Web Port, Control Port, Video Port, Audio Transmit Port, and Audio Receive Port, all set to 0.
- Authentication:** User ID field with "admin" and Password field with "*****".
- Buttons:** Save, Reboot, and Factory Reset (SW).
- Warning:** A message box stating "All ActiveX of IP camera's webviewer will be deleted!".
- Uninstall:** Uninstall (SD, HD) button.

3. 「Search」をクリックして、LAN 内の IP カメラを検索します。

Search						
	NO	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	PRODUCT NAME	MANUFACTURER	FIRMWAREVERSION
<input type="checkbox"/>	1	00:0D:F1:20:DD:98	192.168.1.80	N5B2-ALAH2	IPNC	1.00.06_20161013

検索後、自動的に接続中の IP カメラ情報リストが表示されます。

4. リストの中から設定を行うカメラ欄のボックスをクリックします。

Search						
	NO	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	PRODUCT NAME	MANUFACTURER	FIRMWAREVERSION
<input checked="" type="checkbox"/>	1	00:0D:F1:20:DD:98	192.168.1.80	N5B2-ALAH2	IPNC	1.00.06_20161013

選択中のカメラ欄のボックスには、チェックが表示されます。

5. 画面右の「STATIC」をクリックし、チェックを入れます。

※DHCP サーバーからアドレス自動取得を有効にする場合は、「DHCP」をクリックしてください。

STATIC DHCP

6. 画面右の「IP Setting」欄に新しくカメラの IP アドレスを入力します。

IP Setting	
IP	<input type="text" value="192.168.0.50"/>
Subnet Mask	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
Gateway	<input type="text" value="192.168.0.10"/>
DNS	<input type="text" value="168.126.63.1"/>

本製品の初期設定値は、以下の通りです。

IP ... 192.168.1.80

Subnet Mask ... 255.255.255.0

Gateway ... 192.168.1.1

DNS ... 168.126.63.1

【 注意 】

カメラの IP アドレスを設定する際は、同じネットワークエリア内にあるネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように設定してください。

7. 画面右の「Authentication」欄にユーザーIDとパスワードをそれぞれ入力します。



The image shows a dialog box titled "Authentication". It contains two input fields: "User ID" with the text "admin" entered, and "Password" with "*****" entered. The dialog box has a light gray background and a thin border.

本製品の初期設定値は、以下の通りです。

User ID … admin

Password … admin

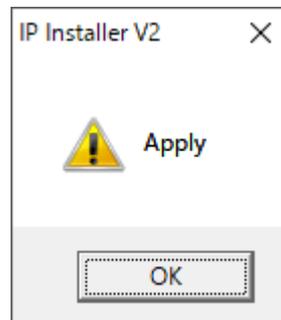
【 注意 】

セキュリティ対策のため、パスワードは必ず初期値から変更してください。
また、パスワード変更後はメモをとるなどし、紛失しないよう保管してください。
パスワードの設定手順については、「3-8-5 ユーザー管理」をご覧ください。

8. 上記設定完了後、画面右下の「Save」をクリックし、設定内容を保存します。



9. 「Apply」とメッセージウィンドウが表示されたら、設定の変更完了となります。



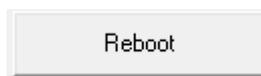
10. 再度、「Search」をクリックし、選択したカメラの設定が変更されていることを確認します。

Search						
	NO	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	PRODUCT NAME	MANUFACTURER	FIRMWAREVERSION
<input type="checkbox"/>	1	00:0D:F1:20:DD:98	192.168.0.50	N5B2-ALAH2	IPNC	1.00.06_20161013

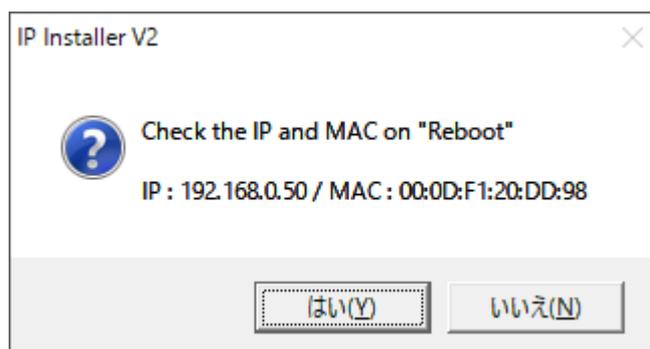
【 その他の操作について 】

- リブート(再起動)する

画面右下の「Reboot」をクリックすると、選択中のカメラを再起動します。



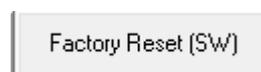
Reboot ボタンをクリックすると、以下のメッセージウィンドウが表示されます。



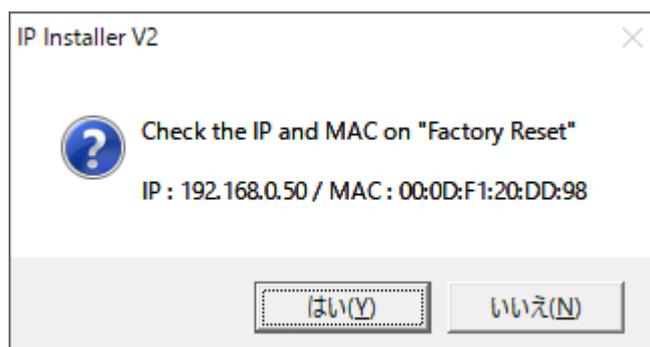
「はい」をクリックすると、再起動を開始します。

- 工場出荷状態に戻す

画面右下の「Factory Reset (SW)」をクリックすると、選択中のカメラを初期化します。



Factory Reset ボタンをクリックすると、以下のメッセージウィンドウが表示されます。



「はい」をクリックすると、カメラの設定値を工場出荷状態にリセットします。

※カメラの IP アドレスは、初期化されません。

2-3 ブラウザからのアクセス

Internet Explorer(以後、IE)により、本製品にアクセスし、ライブ画面表示や各種設定変更を行います。
以下の手順で、IP Installer から本製品にアクセスできます。

1. IP Installer で設定したカメラ欄をダブルクリックすると、IE が起動し、本製品にアクセスします。

Search						
	NO	MAC ADDRESS	IP ADDRESS	PRODUCT NAME	MANUFACTURER	FIRMWAREVERSION
<input checked="" type="checkbox"/>	1	00:0D:F1:20:DD:98	192.168.1.80	N5B2-ALAH2	IPNC	1.00.06_20161013

ダブルクリック

2. ログイン画面が表示されたら、User ID とパスワードを入力します。

Windows セキュリティ

iexplore.exe

サーバー 192.168.0.50 がユーザー名とパスワードを要求しています。サーバーの報告によると、これは IP Camera からの要求です。

admin

●●●●●●

資格情報を記憶する

OK キャンセル

※初期の User ID とパスワードは、以下の通りです。

User ID … admin

パスワード … admin

【 注意 】

- ログイン画面が表示されない場合は、クライアント PC の IP アドレス設定をご確認ください。
また、セキュリティ設定 (ActiveX のダウンロードが有効であるか) も合わせてご確認ください。

3. ログイン後、本製品のライブ画面が表示され、リアルタイム映像が表示されます。



【 注意 】

初回アクセス時は、文字表記は英語表記となっています。

言語を変更する場合は、「2-5 言語の変更」をご覧ください。

2-4 ライブ画面

ライブ画面では、カメラの詳細設定や、ピント調整やズームなど各種調整ができます。
また、初回アクセス時は、文字表記が英語表記となっています。
表示言語の設定変更については、「2-5 言語の変更」をご覧ください。

ライブ画面 … カメラからの映像をリアルタイムで表示します。



PTZ コントロール / スピーカー / アラーム入力 … 本製品では使用できません。

アイコン	概要
	本製品の詳細設定を変更できます。 詳細は、「3 章 各種設定」をご覧ください。
ライブバッファリング	ライブ映像のバッファリングを設定できます。 数値が大きい程、映像が滑らかになりますが、 遅延が発生します。
チャンネル選択	ライブストリーミングを設定できます。 各ストリームの設定内容については、 「3-1-1 ビデオ設定」をご覧ください。

アイコン	概要
	<p>ライブ映像を拡大縮小表示します。 「+」をクリックするとズームインします。 「-」をクリックするとズームアウトします。</p>
	<p>本製品では使用できません。</p>
	<p>ピントを調整できます。 フォーカスモードが「手動」の場合に操作できます。</p>
	<p>ズーム/フォーカスの調整速度を変更できます。 -2～+2の間で調整できます。</p>
	<p>「オート」を選択した場合、ズームを行った際に自動的にピント調整を行います。</p>
	<p>撮影範囲内に動きを検知した際に、 アイコンが赤く点灯します。</p>

2-5 言語の変更

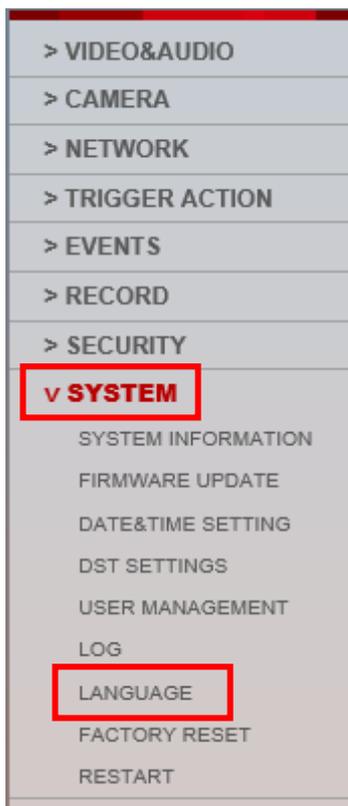
以下の手順で、表示言語を日本語に変更できます。

1. 画面左上の「SETUP」ボタンをクリックします。

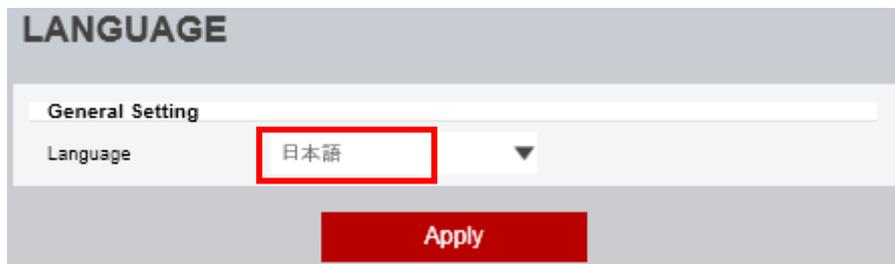


SETUP

2. 詳細設定画面左側の「SYSTEM」をクリックします。
3. System 欄の「LANGUAGE」をクリックします。



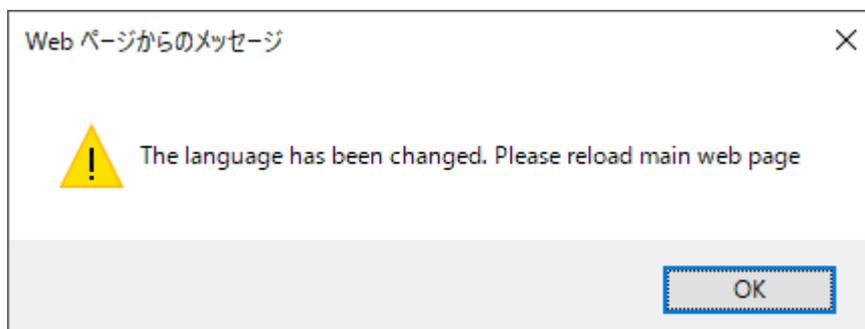
4. 画面右側の「Language」欄をクリックし、「日本語」をクリックします。



5. 「Apply」をクリックし、設定内容を適用します。



6. ウィンドウメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



7. ページが自動的に更新され、表示言語が日本語表記となります。

ビデオ設定

ストリーム	コーデック	説明
<input checked="" type="radio"/> 1	H.264	channel1
<input type="radio"/> 2	H.264	channel2
<input type="radio"/> 3	M-JPEG	channel3

コーデック

コーデック: H.264

説明: channel1

解像度: 1920x1080

フレームレート (FPS): 30

GOP: 30 [1 ~ 120]

プロファイル: 高

スマートビットレート制御: オフ

ビットレートモード: 固定ビットレート

ターゲットビットレート: 5120 [100Kbps ~ 10Mbps]

拡張オプション: オフ

品質: 5 [1 ~ 10]

適用

以上で、設定変更は完了となります。

3章 各種設定

ライブ画面左上の  をクリックすると、カメラの詳細設定画面が表示されます。
カメラの映像設定やネットワーク設定などを行うことができます。

【 設定を完了するとき 】

設定変更を行った際、設定を反映させるには必ず「適用」または「保存」をクリックしてください。
「適用」または「保存」をせずに別項目やブラウザを閉じると、設定が反映されません。

	設定を保存、反映します。 設定項目によって、ボタン表記が異なります。
	
	設定を変更前の状態に戻します。
	設定内容を初期値に戻します。

3-1 ビデオ & 音声

3-1-1 ビデオ設定

セットアップ > ビデオ&音声 > ビデオ

ストリーミングの解像度やフレームレートなどの設定ができます。

The screenshot shows the 'ビデオ設定' (Video Settings) page. On the left is a sidebar with a menu: 'v ビデオ&音声', 'ビデオ', 'オンスクリーン表示', '關心領域', 'プライバシーマスク', '> カメラ', '> ネットワーク', '> トリガー動作', '> イベント', '> 録画', '> セキュリティ', '> システム'. The main content area is titled 'ビデオ設定' and features a table of streams and a configuration panel.

ストリーム	コーデック	説明
<input checked="" type="radio"/> 1	H.264	channel1
<input type="radio"/> 2	H.264	channel2
<input type="radio"/> 3	M-JPEG	channel3

コーデック

コーデック	H.264	▼
説明	channel1	
解像度	1920x1080	▼
フレームレート (FPS)	30	▼
GOP	30	[1 ~ 120]
プロファイル	高	▼
スマートビットレート制御	オフ	▼
ビットレートモード	固定ビットレート	▼
ターゲットビットレート	5120	[100Kbps ~ 10Mbps]
品質	5	[1 ~ 10]

適用

【 ストリームの使い分け 】

本製品はデュアルストリーム機能を搭載しており、3ストリームの同時出力が可能です。
ストリームごとにコーデックや解像度、フレームレートなどを設定することで、使用用途に合わせてカメラからの映像を確認することができます。

ストリーム	コーデック	説明
<input checked="" type="radio"/> 1	H.264	channel1
<input type="radio"/> 2	H.264	channel2
<input type="radio"/> 3	M-JPEG	channel3

ストリーム欄の番号をクリックすることで、各ストリームの詳細設定を変更できます。
各ストリームの詳細設定については、以降をご覧ください。

【 コーデックの設定 】

項目	内容
コーデック	ストリーミングの圧縮方式を選択できます。 選択肢 ： H.264 / MJPEG ※ストリーム 3 は、「MJPEG」固定となります。
説明	各ストリームの概要を任意で設定できます。 項目欄をクリックすることで編集が可能です。 ※アルファベット/数字/スペース/- _ @ . のみ入力が可能です。
解像度	ストリーミングの解像度を選択できます。 ストリーム番号によって選択できる解像度が異なります。 <ul style="list-style-type: none">ストリーム 1 … 1920*1080 / 1280*720ストリーム 2 … 704*576 / 704*480 / 640*480 / 352*288 / 352*240ストリーム 3 … 800*600 / 640*480 / 768*432 / 704*576 / 704*480 / 352*288 / 352*240
フレームレート (FPS)	ストリーミングのフレームレートを選択できます。 選択肢 ： 1~30 数値が大きい程、滑らかな映像となりますが、映像サイズが大きくなります。
GOP	1フレーム間隔を設定できます。(ストリーム 3 では設定できません。) 項目欄をクリックすることで、数値入力が可能です。 入力範囲 ： 1~120 フレームレートと同じ値に設定することを推奨します。
プロファイル	H.264 の規格レベルを設定できます。 (ストリーム 3 では設定できません。) 選択肢 ： 高 / メイン / ベースライン 高：映像は高画質となりますが、処理が重くなります。 ベースライン：映像は低画質となりますが、処理は軽くなります。

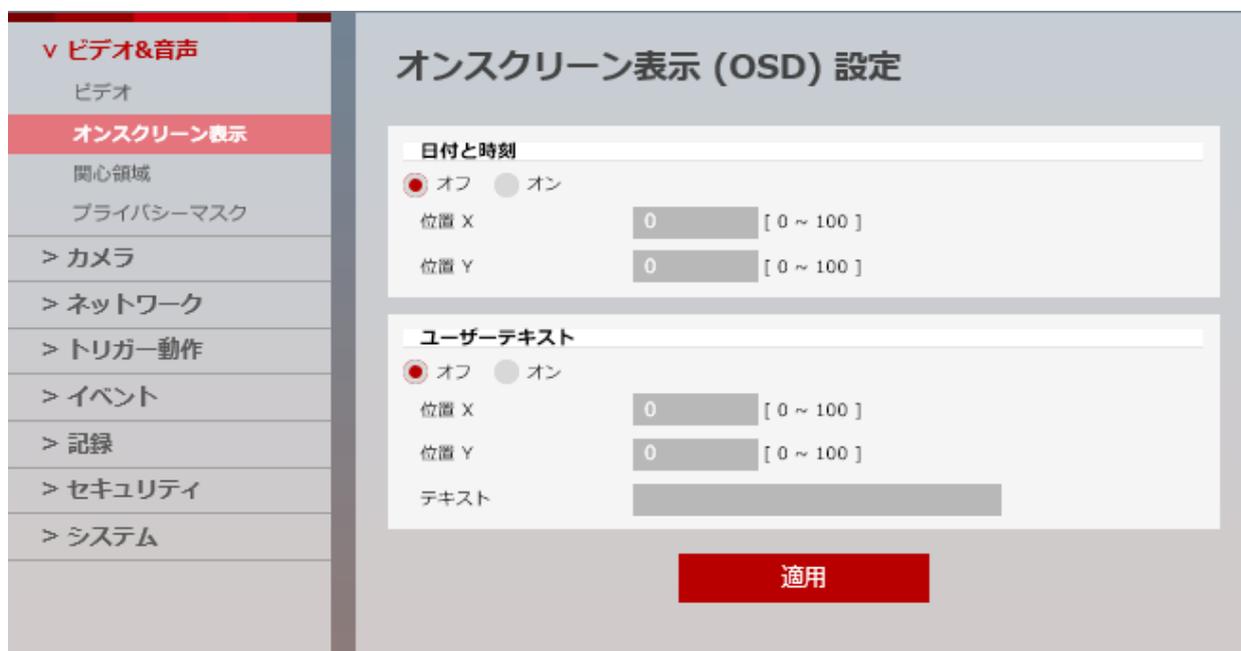
【コーデックの設定】

項目	内容
スマートビットレート制御	<p>撮影シーンに合わせて、ビットレートを自動で設定できます。 (ストリーム3では設定できません。)</p> <p>選択肢： オフ / CVBR(フレームレート優先) / CVBR(品質優先) / CBR</p> <ul style="list-style-type: none">CVBR(フレームレート優先) … フレームレートを優先しビットレートを自動調整します。CVBR(品質優先) … 画質を優先しビットレートを自動調整します。CBR … 「ターゲットビットレート」で設定した数値を優先し、画質を自動調整します。
ビットレートモード	<p>手動でビットレートを設定できます。 「スマートビットレート制御」がオフの場合に設定が可能です。 (ストリーム3は設定できません。)</p> <p>選択肢： 可変ビットレート / 固定ビットレート</p> <ul style="list-style-type: none">可変ビットレート … 映像の動きに合わせて帯域を変化させながら、最適な画質でストリーミングを行います。固定ビットレート … 画質が安定し、「ターゲットビットレート」で設定した値に近い帯域でストリーミングを行います。
ターゲットビットレート	<p>ストリーミングの平均ビットレートを設定できます。 項目欄をクリックすることで、数値入力が可能です。 (ストリーム3は設定できません。)</p> <p>入力範囲： 100kbps～10Mbps</p>
品質	<p>ストリーミング映像の画質を設定できます。 「スマートビットレート制御」がオフの場合に設定が可能です。 (ストリーム3は設定できません。)</p> <p>入力範囲： 1～10</p> <p>数値が高い程、高画質となりますが、データ容量は大きくなります。</p>

3-1-2 オンスクリーン表示(OSD)設定

セットアップ > ビデオ&音声 > オンスクリーン表示

ライブ画面上に、日時やユーザーテキストの表示や位置の設定ができます。



【 日付と時刻 】

項目	内容
オン / オフ	日時の 表示 / 非表示 を選択できます。 「オン」にすると日時が表示されます。 日時の表示形式は、「年-月-日 時:分:秒」と表示されます。
位置 X / Y	日時の表示場所を設定できます。 入力範囲 : 0~100 初期設定(X/Y : 0/0)は、ライブ画面左上に日時が表示されます。

【 ユーザーテキスト 】

項目	内容
オン / オフ	「オン」にすると、ユーザーが入力したテキストがライブ画面に表示されます。
位置 X / Y	テキストの表示位置を設定できます。 入力範囲 : 0~100 初期設定(X/Y : 0/0)は、ライブ画面左上にテキストが表示されます。
テキスト	ライブ画面に表示するテキストを設定できます。 最大 30 文字まで入力が可能です。 アルファベット/数字/スペース/-_@. のみ入力が可能です。

3-1-3 関心領域(ROI 機能)設定

セットアップ > ビデオ&音声 > 関心領域

ライブ映像の中で選択したエリア内は高画質で、エリア外は低画質で表示し、データ容量を抑えます。



項目	内容
ストリーム	Channel1 のみ設定できます。
アクティベーション	関心領域(ROI)機能の 有効 / 無効 を設定できます。 本機能を使用する場合は、「有効にする」を選択してください。
品質	関心領域内の表示品質を設定できます。 設定範囲 : 0~100 %

【 関心領域設定手順 】

以下の手順で、関心領域の設定ができます。

1. 「アクティベーション」の「有効」をクリックします。



2. ウィンドウ上でマウスをドラッグ&ドロップし、関心領域を設定します。



※領域は黄色枠で表示され、黄色枠の内側が高画質で表示されます。

3. 「品質」のバーをマウスで移動させて画質を調整します。



※率が高いほど、黄色枠の内側が高画質で表示されます。

4. 画面下の「保存」をクリックし、設定を保存します。



3-1-4 プライバシーマスク設定

セットアップ > ビデオ&音声 > プライバシーマスク

撮影範囲のうち、指定した領域にマスクをかけることで、範囲内を閲覧できないようにします。



項目	内容
アクティベーション	プライバシーマスク機能の 有効 / 無効 を設定できます。 本機能を使用する場合は、「オン」を選択してください。
エリア	マスキングエリアを設定できます。 選択肢 : エリア 1~4 最大 4 エリアまで登録できます。

【 プライバシーマスク設定手順 】

以下の手順で、撮影範囲内にマスクを設定できます。

1. 「アクティベーション」の「オン」をクリックします。



2. 「エリア」のプルダウンから「エリア 1」を選択します。



※1つのエリアにつき1箇所設定できます。

※最大で4エリア分のマスクエリアを設定できます。

3. ウィンドウ上でマウスをドラッグ&ドロップし、マスク領域を設定します。



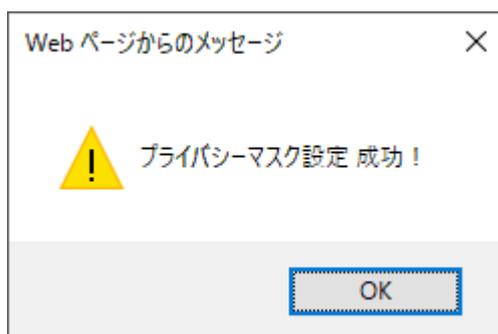
※領域は青色で表示され、青色部分がマスクされます。

※複数のエリアを設定する場合は、「エリア」を「エリア 2～4」に切り替えて設定します。

4. 画面下の「保存」をクリックし、設定を保存します。



5. 設定完了のメッセージが表示されたら、プライバシーマスク設定は完了です。



【 プライバシーマスク解除手順 】

以下の手順で、設定済みのマスクエリアを解除できます。

1. 解除を行うエリアを選択します。



2. 画面下の「エリアをクリア」をクリックします。



3. 画面下の「保存」をクリックし、設定を保存します。



3-2 カメラ

3-2-1 プロファイル設定

セットアップ > カメラ > プロファイル

現在の画質や露光などの各種設定をプロファイルとして保存できます。
よく使う設定を登録しておくことで、設定の手間を省くことができます。



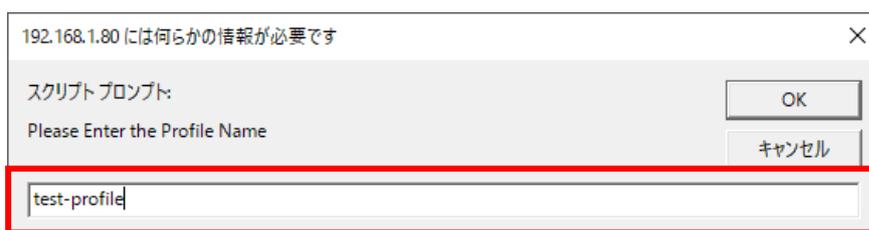
【 プロファイル設定手順 】

以下の手順で、プロファイルを登録できます。

1. 画面右側の「追加」をクリックします。



2. 登録するプロファイル名を設定します。



3. 「OK」をクリックし、プロフィールを登録します。

192.168.1.80 には何らかの情報が 必要です

スクリプト プロンプト:
Please Enter the Profile Name

test-profile

OK

キャンセル

4. 登録したプロフィールを選択し「適用」をクリックすることで、あらかじめ設定した内容が反映されます。選択したプロフィール欄は赤色で表示されます。

プロフィール番号	固定	プロフィール名
プロフィール1	X	test-profile

追加 削除 適用

【 プロファイル削除手順 】

以下の手順で、登録済みのプロフィールを削除できます。

1. 登録済みのプロフィールを選択肢します。

プロフィール番号	固定	プロフィール名
プロフィール1	X	test-profile

追加 削除 適用

2. 「削除」をクリックすることで、選択したプロフィールを削除できます。

プロフィール番号	固定	プロフィール名
----------	----	---------

追加 削除 適用

3-2-2 画像調整

セットアップ > カメラ > 画像調整

カメラ映像の明るさやコントラストを調整できます。



画像調整

シャープネス - + 55

輝度 - + 50

コントラスト - + 50

彩度 - + 25

色相 - + 50

保存 キャンセル デフォルト

項目	内容
シャープネス	映像の鮮明さを調整できます。 設定範囲 : 0~100 デフォルト値は、55 です。
輝度	映像の明るさを調整できます。 設定範囲 : 0~100 デフォルト値は、50 です。
コントラスト	映像のコントラストを調整できます。 設定範囲 : 0~100 デフォルト値は、50 です。
彩度	映像の色飽和を調整できます。 設定範囲 : 0~100 デフォルト値は、25 です。
色相	映像の色合いを調整できます。 設定範囲 : 0~100 デフォルト値は、50 です。

【 設定値を元に戻す 】

各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-2-3 露光設定

セットアップ > カメラ > 露光設定

シャッタースピードによる画面の明るさを調整できます。



露光設定

オート露光 オフ オン

露光レベル - +128

オート露光計測 平均 ▼

シャッタースピード 1/30 ▼

スローシャッター 2X ▼

ゲインリミット 44 db ▼

保存 キャンセル デフォルト

項目	内容
オート露光	自動露光調整の 有効 / 無効 を設定できます。 本機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。 デフォルト値は、「オン」です。
露光レベル	画面の明るさを調整できます。 設定範囲 : 25~400 「オート露光」が「オフ」の場合は、設定できません。 デフォルト値は、「128」です。
オート露光計測	選択肢 : スポット / 中央 / 平均 「オート露光」が「オフ」の場合は、設定できません。 デフォルト値は、「平均」です。
シャッタースピード	シャッタースピードを調整できます。 選択肢 : 1/15~1/32000 「オート露光」が「オン」の場合は、設定できません。 デフォルト値は、「1/30」です。
スローシャッター	DSS(デジタルスローシャッター)の上限値を設定できます。 選択肢 : Off / 2x~10x 倍率が大きい程、明るくなりますが、ノイズが増加します。 デフォルト値は、「2x」です。
ゲインリミット	AGC(オートゲインコントロール)の上限値を設定できます。 選択肢 : 0db~44db 数値が高い程、明るくなりますが、ノイズが増加します。 デフォルト値は、「44db」です。

【 設定値を元に戻す 】

各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-2-4 デイ&ナイト設定

セットアップ > カメラ > デイ&ナイト設定

カラーまたはモノクロ撮影のスケジュールや、切り替えタイミングなどを設定できます。



デイ&ナイト機能

昼間など明るい場では、カラー映像で撮影を行い、夜間など暗い場では、自動的に高感度のモノクロ撮影に切り替わる機能です。

これにより、24時間撮影が可能となります。

項目	内容
デイ&ナイト	<p>カラー/モノクロの切り替えを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> オート : 撮影環境の明るさによってカラー/モノクロを自動で切り替えます。 デイ : 強制的にカラーで撮影を行います。 ナイト : 強制的にモノクロで撮影を行います。 スケジュール : 設定した時間帯でカラー/モノクロを切り替えます。 <p>デフォルト値は、「オート」です。</p>
色レベル	<p>モノクロからカラーに切り替わる明るさレベルを調整できます。</p> <p>選択肢 : 0~10</p> <p>数値が小さい程、より暗い環境下でカラーに切り替わります。</p> <p>「デイ&ナイト」を「オート」に設定している必要があります。</p> <p>デフォルト値は、「5」です。</p>
B/Wレベル	<p>カラーからモノクロに切り替わる明るさレベルを調整できます。</p> <p>選択肢 : 0~10</p> <p>数値が大きい程、より明るい環境下でモノクロに切り替わります。</p> <p>「デイ&ナイト」を「オート」に設定している必要があります。</p> <p>デフォルト値は、「5」です。</p>
移行時間	<p>カラー/モノクロを切り替えるタイミングを感知してから実際に切り替えるまでの時間を調整できます。</p> <p>選択肢 : 低速 / 中間 / 高速</p> <p>デフォルト値は、「中間」です。</p>
デイ→ナイト時間	<p>デイからナイトに切り替わる時刻を設定します。</p> <p>「デイ&ナイト」を「スケジュール」に設定している必要があります。</p> <p>例 : 「19:00」と設定した場合は、19 時 00 分になると自動的にモノクロ撮影に切り替えます。</p> <p>デフォルト値は「19:00」です。</p>
ナイト→デイ時間	<p>ナイトからデイに切り替わる時刻を設定します。</p> <p>「デイ&ナイト」を「スケジュール」に設定している必要があります。</p> <p>例 : 「5:00」と設定した場合は、5 時 00 分になると自動的にカラー撮影に切り替えます。</p> <p>デフォルト値は、「5:00」です。</p>

【 設定値を元に戻す 】

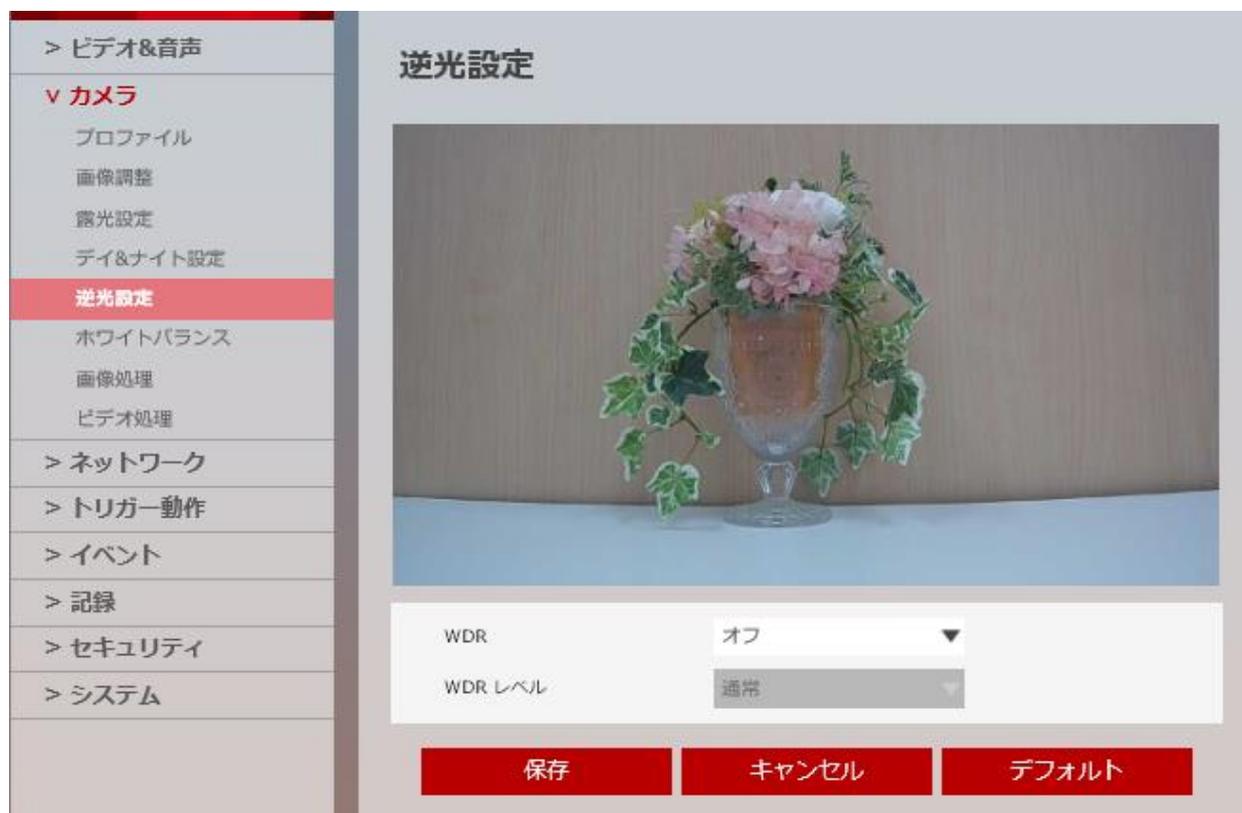
各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-2-5 逆光設定

セットアップ > カメラ > 逆光設定

WDR(ワイドダイナミックレンジ)を調整し、逆光時に被写体をはっきり撮影できます。



WDR(ワイドダイナミックレンジ)

高速シャッターと低速シャッターで撮影した2つの画像を合成して取り出すことで暗部は明るく、明部は暗くして明暗部の両方を確認可能にする機能です。

項目	内容
WDR	ワイドダイナミックレンジ機能の 有効 / 無効 を設定できます。 本機能を使用する場合は、「On(2x)」をクリックしてください。 デフォルト値は、「オフ」です。
WDR レベル	映像の明るい部分と暗い部分の明るさに応じて感度を設定できます。 選択肢： 通常 / 低レンジ / 高レンジ デフォルト値は、「通常」です。 「WDR」が「オフ」の場合は、設定できません。

【 設定値を元に戻す 】

各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-2-6 ホワイトバランス

セットアップ > カメラ > ホワイトバランス

映像のホワイトバランスを調整できます。



ホワイトバランス

光源の種類(蛍光灯や太陽など)によって、白い物を自然な白色に写るように補正を行う機能です。

項目	内容
アクティベーション	ホワイトバランスを 有効 / 無効 を設定できます。 本機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。 デフォルト値は、「オン」です。
ホワイトバランス モード	光源の種類に応じて、ホワイトバランスモードを設定できます。 選択肢 : オート / 2800K~7500K / フラッシュ / 蛍光灯 / 蛍光灯_H / 水中 / 手動 デフォルト値は、「オート」です。
R/G/B ゲイン	手動でゲイン量を設定できます。 選択範囲 : 1000~2000 手動で設定する場合は、「ホワイトバランスモード」を「手動」に設定してください。 デフォルト値は、 R ゲイン : 1500 G ゲイン : 1024 B ゲイン : 1400 です。

【 設定値を元に戻す 】

各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-2-7 画像処理

セットアップ > カメラ > 画像処理

ノイズ除去や映像反転を設定できます。



3D ノイズリダクション

低照度のちらつき(ノイズ)を低減させることができます。

レコーダーによる記録時、ノイズによる記録データの大容量化を抑えます。

但し、動きのある被写体では残像が発生する場合があります。

項目	内容
3D ノイズ リダクション	ノイズ除去レベルを設定できます。 設定範囲 : 0~11 デフォルト値は、「1」です。
ミラー	映像を左右反転して表示します。 本機能を有効にする場合は、「オン」をクリックしてください。 デフォルト値は、「オフ」です。
フリップ	映像を上下反転して表示します。 本機能を有効にする場合は、「オン」をクリックしてください。 デフォルト値は、「オフ」です。

【 設定値を元に戻す 】

各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-2-8 ビデオ処理

セットアップ > カメラ > ビデオ処理

電源周波数によるちらつき防止を設定できます。



項目	内容
フリッカレス	蛍光灯の明かりなどのちらつき防止を設定できます。 東日本(50Hz 電源地域)でご使用の場合は、「50Hz」 西日本(60Hz 電源地域)でご使用の場合は、「60Hz」 をそれぞれクリックしてください。 デフォルトは、「60Hz」です。

【 設定値を元に戻す 】

各設定値をデフォルト値に戻す場合は、画面下の「デフォルト」をクリックします。



3-3 ネットワーク

3-3-1 ネットワーク状態

セットアップ > ネットワーク > 状態

本製品のネットワーク設定状況を確認できます。

> ビデオ&音声	<h3>ネットワーク状態</h3> <table><tr><td>MAC アドレス</td><td>00:0D:F1:20:A4:32</td></tr><tr><td>IP アドレス</td><td>192.168.0.205</td></tr><tr><td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr><tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>192.168.0.1</td></tr><tr><td>優先 DNS サーバー</td><td>192.168.0.1</td></tr><tr><td>代替 DNS サーバー</td><td>164.124.101.2</td></tr><tr><td>HTTP ポート</td><td>80</td></tr><tr><td>HTTPS ポート</td><td>443</td></tr><tr><td>RTSP ポート</td><td>554</td></tr></table>	MAC アドレス	00:0D:F1:20:A4:32	IP アドレス	192.168.0.205	サブネットマスク	255.255.255.0	デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	優先 DNS サーバー	192.168.0.1	代替 DNS サーバー	164.124.101.2	HTTP ポート	80	HTTPS ポート	443	RTSP ポート	554
MAC アドレス		00:0D:F1:20:A4:32																	
IP アドレス		192.168.0.205																	
サブネットマスク		255.255.255.0																	
デフォルトゲートウェイ		192.168.0.1																	
優先 DNS サーバー		192.168.0.1																	
代替 DNS サーバー		164.124.101.2																	
HTTP ポート		80																	
HTTPS ポート		443																	
RTSP ポート		554																	
> カメラ																			
v ネットワーク																			
状態																			
ネットワーク設定																			
UPNP																			
DDNS																			
FTP																			
SMTP																			
> トリガー動作																			
> イベント																			
> 録画																			
> セキュリティ																			
> システム																			

本製品のネットワーク設定を行う場合は、以降をご覧ください。

3-3-2 ネットワーク設定

セットアップ > ネットワーク > ネットワーク設定

本製品のネットワークアドレスを設定できます。

ネットワーク設定

ネットワークタイプ

静的 動的

IP セットアップ

IP アドレス 192.168.0.205

サブネットマスク 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ 192.168.0.1

優先 DNS サーバー 192.168.0.1

代替 DNS サーバー 164.124.101.2

ポートセットアップ

HTTP ポート 80 [Default: 80, 1025 ~ 60000]

HTTPS ポート 443 [Default: 443, 1025 ~ 60000]

RTSP ポート 554 [Default: 554, 1025 ~ 60000]

適用

【 ネットワークタイプ 】

項目	内容
静的	カメラのネットワークアドレスを手動で設定します。 「静的」を選択した場合、「IP セットアップ」でアドレスを設定してください。
動的	DHCP などを使用する場合、カメラのネットワークアドレスを自動で設定します。 「動的」を選択した場合、「IP セットアップ」でのアドレス設定は不要です。

【 IP セットアップ 】

本製品のネットワークアドレスを設定できます。

※「IP アドレス」を設定する際は、同じネットワークエリア内にあるネットワーク機器の IP アドレスと重複しないように設定してください。

【 ポートセットアップ 】

本製品のネットワークポートを設定できます。

※同じネットワークエリア内にあるネットワーク機器のポートと重複しないように設定してください。

3-3-3 UPNP 設定

セットアップ > ネットワーク > UPNP

UPNP の設定ができます。

The screenshot shows the UPNP settings page. On the left, a navigation menu includes 'ビデオ&音声', 'カメラ', 'ネットワーク', '状態', 'ネットワーク設定', 'UPNP', 'DDNS', 'FTP', and 'SMTP'. The 'UPNP' option is highlighted. The main content area is titled 'UPNP 設定' and contains two sections: '一般設定' (General Settings) with a radio button for 'オフ' (Off) selected, and 'デバイス情報' (Device Information) with a text field for 'フレンドリー名' (Friendly Name) containing 'N8B2-OLAH4(CV74IP4M_)'. A red '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the main content area.

UPNP (Universal Plug and Play)

ネットワークに接続することで、ネットワーク機器どうして自動認識し、機能の通知などを行う機能です。

【 一般設定 】

UPNP 機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。

【 デバイス情報 】

ネットワーク上で、表示される自身のフレンドリー名を設定できます。

フレンドリー名を変更する場合は、「一般設定」を「オン」にしてください。

3-3-4 DDNS 設定

セットアップ > ネットワーク > DDNS

本製品の DDNS を設定できます。



【 無効にする 】

DDNS 設定を有効にする場合は、「公開 DDNS」をクリックしてください。

【 公開 DDNS 】

公開 DDNS サービスを使用する場合は、チェックボックスをクリックしてください。

項目	内容
アドレス	使用する DDNS サーバーアドレスを選択できます。 選択肢： <ul style="list-style-type: none">• www.dyndns.com• www.no-ip.com ※「www.dyndns.com」は使用できません。 ※「www.no-ip.com」で使用する DDNS サーバーは有償です。 本 DDNS サーバーを使用する場合、お客様の方で別途設定が必要となります。
ホスト名	「アドレス」で選択したサーバーアドレスのホスト名を入力できます。
ユーザー名	「アドレス」で選択したサーバーに登録されているユーザー名を入力できます。
パスワード	「アドレス」で選択したサーバーに登録されているパスワードを入力できます。

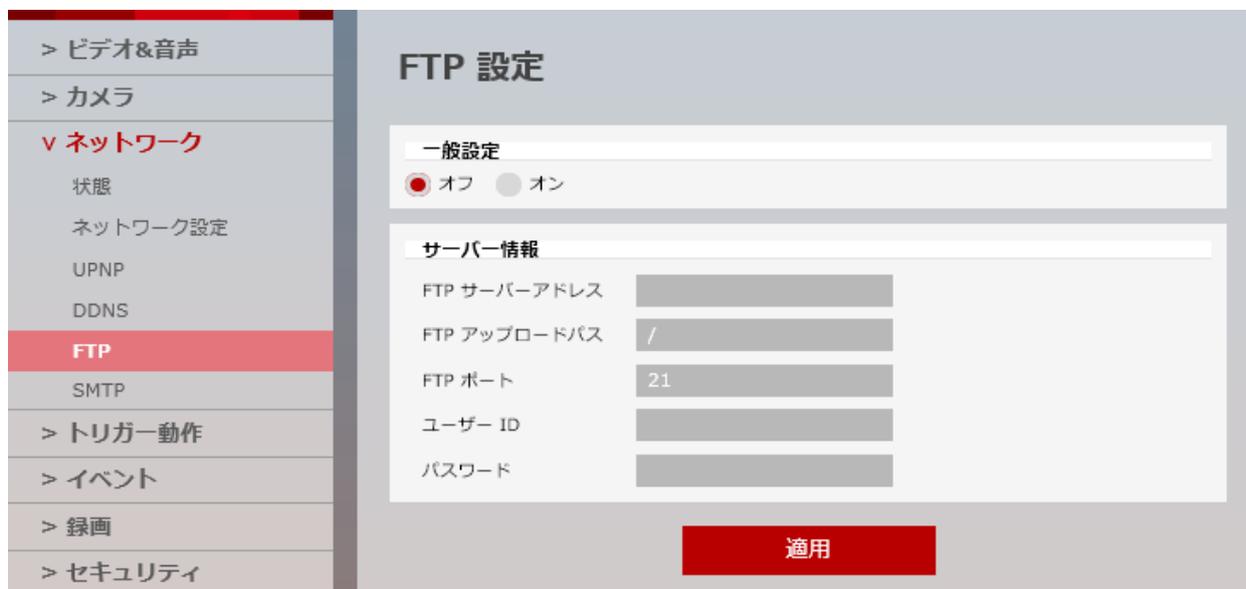
※DDNS 機能を使用する場合、本製品をあらかじめネットワークに接続している必要があります。

※本製品のネットワーク設定については、「3-3-2 ネットワーク設定」をご覧ください。

3-3-5 FTP 設定

セットアップ > ネットワーク > FTP

FTP サーバーの設定ができます。



【 一般設定 】

FTP サーバーを使用する場合は、「オン」をクリックしてください。

【 サーバー情報 】

項目	内容
FTP サーバー アドレス	FTP サーバーの IP アドレスを入力できます。
FTP アップロードパス	FTP サーバーのファイルをアップロードするディレクトリーを設定できます。 例 : /img/camera/ の場合、img ファイル内の camera フォルダの中に 保存されます。
FTP ポート	FTP サーバーのポートを入力できます。 デフォルト値は、21 です。
ユーザーID	FTP サーバーに登録されているユーザーID を入力できます。
パスワード	FTP サーバーに登録されているパスワードを入力できます。

※FTP 機能を使用する場合、あらかじめ本製品をネットワーク接続または、ローカル FTP サーバーへアクセスする必要があります。

※本製品のネットワーク設定については、「3-3-2 ネットワーク設定」をご覧ください。

3-3-6 SMTP(メール送信)設定

セットアップ > ネットワーク > SMTP

メール送信の設定ができます。

The screenshot shows the 'SMTP 設定' (SMTP Settings) page. On the left is a navigation menu with options like 'ビデオ&音声', 'カメラ', 'ネットワーク', 'トリガー動作', 'イベント', '録画', 'セキュリティ', and 'システム'. The 'ネットワーク' section is expanded, showing 'SMTP' as the selected option. The main content area is titled 'SMTP 設定' and contains three sections: '一般設定' (General Settings) with an 'オフ' (Off) radio button selected; 'アカウント情報' (Account Information) with fields for 'モード' (PLAIN selected), 'SMTP サーバーアドレス', 'ポート' (25), 'ユーザー ID', 'パスワード', 'E-Mail 送信者', and 'E-mail 受信者'; and 'メール内容' (Email Content) with fields for '件名' (Subject) and 'メッセージ' (Message). A red '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the settings area.

【 一般設定 】

メール送信機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。

【 アカウント情報 】

項目	内容
モード	SMTP のセキュリティモードを選択できます。 選択肢 : PLAIN / SSL/TLS SMTP サーバーのアカウント設定をご確認の上、モードをクリックしてください。
SMTP サーバー アドレス	SMTP サーバーのアドレスを入力できます。
ポート	SMTP サーバーのポート番号を入力できます。
ユーザーID	SMTP サーバーに登録されているユーザーID を入力できます。
パスワード	SMTP サーバーに登録されているパスワードを入力できます。

E-Mail 送信者	メール送信元アドレスを入力できます。
E-Mail 受信者	メール受信先アドレスを入力できます。

【 メール内容 】

項目	内容
件名	メール送信時のメールタイトルを入力できます。 最大 40 文字まで入力できます。
メッセージ	メール送信時のメール内容を入力できます。 最大 40 文字まで入力できます。

※SMTP 機能を使用する場合は、あらかじめ本製品をネットワーク接続する必要があります。

本製品のネットワーク設定については、「3-3-2 ネットワーク設定」をご覧ください。

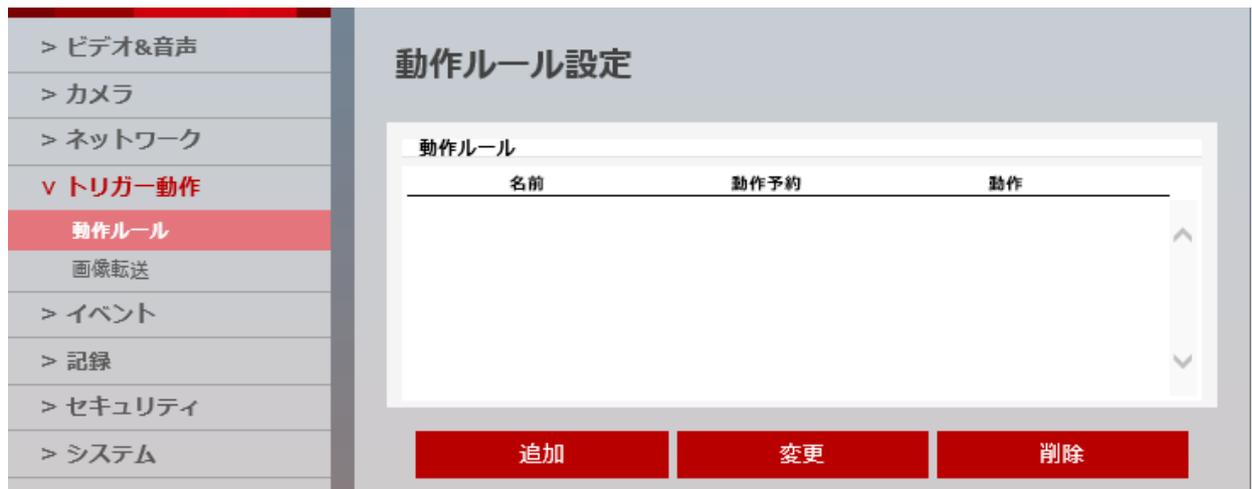
※メールが正常受信できなかった場合、メール受信・送信サーバーの設定を見直してください。

3-4 トリガー動作

3-4-1 動作ルール設定

セットアップ > トリガー動作 > 動作ルール

イベントが発生した時、録画やメール送信などの設定ができます。



【 動作ルール設定画面への移動 】

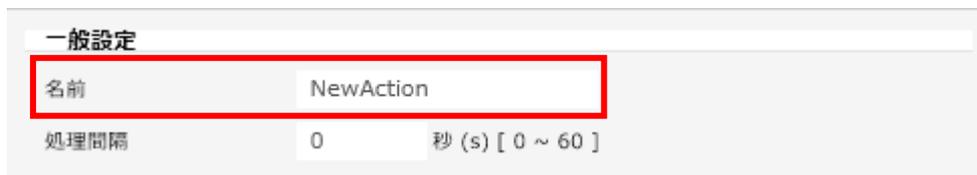
画面右側の「追加」をクリックし、詳細画面に移動します。



【 動作ルール設定手順 】

以下の手順で動作ルールを設定できます。

1. 「一般設定」の「名前」欄をクリックし、新しく設定する動作ルールの名称を入力します。



一般設定	
名前	NewAction
処理間隔	0 秒 (s) [0 ~ 60]

2. 「処理間隔」欄にて、動作を行う間隔を設定します。

入力範囲：0～60 秒



一般設定	
名前	NewAction
処理間隔	0 秒 (s) [0 ~ 60]

3. 画面下の「動作」欄でイベントが発生した際の動作を設定します。

選択肢：無し / 録画 / FTP 受信者 / SMTP 受信者



動作 1	無し
動作 2	録画
動作 3	FTP 受信者
動作 4	無し ▼
動作 5	無し ▼

選択肢の動作はそれぞれ以下のようにイベント発生時に動作します。

- 無し：イベントが発生しても何も動作を起こしません。
- 録画：イベントが発生時に録画を開始します。
「録画」を選択時には、保存先を設定する必要があります。
イベントと連動させて録画を行う設定については、「3-6-1 録画設定」をご覧ください。
- FTP 受信者：イベント発生時に FTP サーバーへ静止画を送信します。
静止画については、「3-4-2 画像転送設定」をご覧ください。
- SMTP 受信者：イベント発生時にメールで静止画を送信します。
静止画については、「3-4-2 画像転送設定」をご覧ください。

3-4-2 画像転送設定

セットアップ > トリガー動作 > 画像転送

イベント発生時、FTP サーバーまたはメールを送信する静止画の設定ができます。

画像転送設定

1. イベントルールメニューに FTP/SMTP 動作を追加します。
2. イベントが発生すると、画像が ftp/smtp アドレスに送信されます。
3. 画像転送速度および、イベントの後/前の画像転送の時間を決定してください。

プリ/ポストアラーム画像		
画像の数	2	画像/秒 (s) [1 ~ 5]
プリアラーム時間	3	秒 (s) [1 ~ 5]
ポストアラーム時間	3	秒 (s) [1 ~ 30]

適用

【 プリ/ポストアラーム画像 】

項目	内容
画像の数	FTP サーバーまたはメールを送信する画像の枚数を設定できます。 入力範囲 : 1~5 例 : 「5 画像/秒(s)」の場合、「プリアラーム/ポストアラーム時間」で設定した時間*5 枚分の画像を送信します。
プリアラーム時間	イベントが発生した時刻よりも前から映像を転送できます。 入力範囲 : 1~5 秒(s) 例 : 「5 秒」に設定した場合、イベント発生時刻から 5 秒前の画像データを送信します。
ポストアラーム時間	イベントが終了した時刻よりも後の映像を転送できます。 入力範囲 : 1~30 秒(s) 例 : 「30 秒」に設定した場合、イベント終了後時刻から 30 秒間の画像データを追加で送信します。

3-5 イベント

3-5-1 イベントルール設定

セットアップ > イベント > イベントルール

イベントのトリガーとなる条件を設定できます。

イベントルール設定

名前	イベント予約	スケジュール	動作
----	--------	--------	----

追加 変更 削除

【 イベントルール追加画面への移動 】

画面右側の「追加」をクリックしてください。

追加 変更 削除

イベントルール設定

一般

アクティベーション オン オフ

名前 NewRule

イベント条件

イベント 無し

スケジュール 常時 手動

週 日 月 火 水 木 金 土

時刻 00 00 ~ 00 00

動作

ルール NONE

保存 キャンセル

【 イベントルール設定手順 】

以下の手順で、イベントルールを設定できます。

1. 「一般」欄の「アクティベーション」が「オン」になっていることを確認します。
イベントルールを設定しない場合は、「オフ」をクリックしてください。

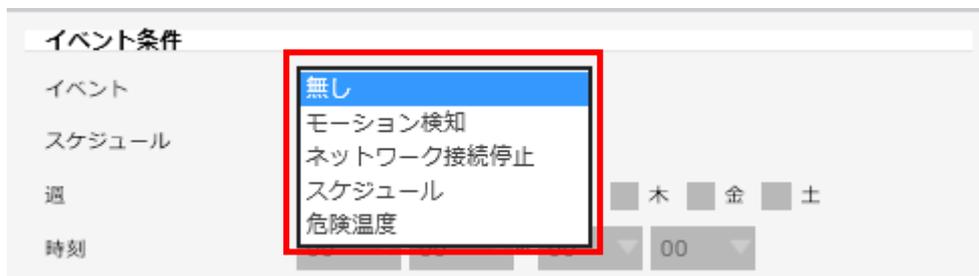


2. 「名前」欄をクリックし、新しく設定するイベントルールの名称を入力します。



※イベントルールを複数設定する場合は、ルール名称を変更して新たに設定してください。

3. 「イベント条件」の「イベント」欄からトリガーとする条件を選択します。
選択肢：無し / モーション検知 / ネットワーク接続停止 / スケジュール / 危険温度



選択肢の条件はそれぞれ以下のようにになっています。

- 無し：イベント条件を設定しません。
- モーション検知：撮影範囲に動きを検知した際にトリガー動作を作動させます。
モーション検知エリアや感度の設定については、
「3-5-3 モーション検知設定」をご覧ください。
- ネットワーク接続停止：ネットワークとの接続が途切れた際にトリガー動作を作動させます。
- スケジュール：トリガー動作を作動させるタイミングを任意で設定できます。
タイミングの設定については、「3-5-2 スケジュール設定」をご覧ください。
- 危険温度：本製品が設定した温度以上になった際にトリガー動作を作動させます。
閾値の設定については、「3-5-4 温度」をご覧ください。

4. 「スケジュール」欄で、イベント条件を有効にするタイミングを選択します。

選択肢：常時 / 手動

イベント条件

イベント 無し

スケジュール 常時 手動

週 日 月 火 水 木 金 土

時刻 00 00 ~ 00 00

- 常時：常にイベント条件を有効化します。
- 手動：任意の曜日と時間帯にイベントを有効化します。
ただし、曜日ごとに時間帯を設定することはできません。

5. 「スケジュール」を「手動」にした場合、「週」と「時刻」を任意で設定します。

イベント条件

イベント モーション検知

スケジュール 常時 手動

週 日 月 火 水 木 金 土

時刻 09 00 ~ 17 30

6. 「動作」欄にて、イベント発生時に作動させる動作ルールを選択します。

動作

ルール NewAction

動作ルールの設定については、「3-4-1 動作ルール設定」をご覧ください。

3-5-2 スケジュール設定

セットアップ > イベント > スケジュール

「イベントルール」にて「スケジュール」を選択した場合、トリガーを作動させるタイミングを設定できます。



【 反復機能 】

項目	内容
モード	スケジュール機能の 有効 / 無効 を設定できます。 選択肢 : 有効にする / 無効にする スケジュール機能を使用する場合は、「有効にする」をクリックしてください。
繰り返しルール	トリガーを作動させる間隔を設定できます。 選択肢 : 5分毎 / 10分毎 / 15分毎 / 30分毎 / 45分毎 / 1時間毎 / 6時間毎 / 12時間毎 / 1日毎 / 1週間毎 例 : 「5分毎」に設定した場合、5分間隔で動作ルールを作動させます。

3-5-3 モーション検知設定

セットアップ > イベント > モーション

動きを検知する領域を設定できます。



項目	内容
モーション検知	指定したエリア内で動きを検知した際に、アイコンが赤く点灯します。 モーション検知時： 
エリア	モーション検知エリアを設定できます。 選択肢：モーションエリア 1～4 最大 4 エリアまで登録できます。
アクティベーション	「エリア」で設定した領域の 有効 / 無効 を設定できます。 選択肢：有効にする / 無効にする
感度	動きを検知する感度を設定できます。 選択範囲：1～100 数値が大きい程、小さな動きでも検知するようになります。 初期値は、70 です。

【 モーション検知エリア設定手順 】

以下の手順で、モーション検知エリアを設定できます。

1. 「エリア」のプルダウンから「モーションエリア 1」を選択します。



※1つのエリアにつき1箇所設定できます。

※最大で4エリア分のモーションエリアを設定できます。

2. 「アクティベーション」欄を「有効にする」に設定します。



3. ウィンドウ上でマウスをドラッグ&ドロップし、検知エリアを設定します。



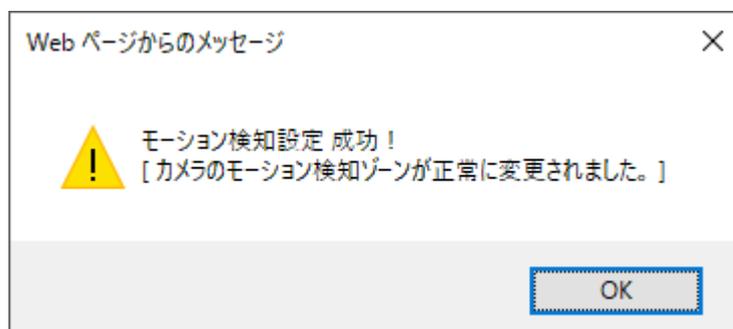
※領域は赤色で表示され、赤色部分が検知エリアとして設定されます。

※複数のエリアを設定する場合は、「エリア」を「モーションエリア 2～4」に切り替えて設定します。

4. 画面下の「保存」をクリックし、設定を保存します。



5. 設定完了のメッセージが表示されたら、モーション検知エリア設定は完了です。



【 モーション検知エリア無効手順 】

以下の手順で、設定済みのモーション検知エリアを無効にできます。

1. 無効化するエリアを選択します。



2. 「アクティベーション」を「無効にする」に設定します。



3. 画面下の「保存」をクリックし、設定を保存します。



3-5-4 温度

セットアップ > イベント > 温度

本製品の許容温度を設定できます。



【 一般設定 】

項目	内容
モード	温度の単位を設定できます。 選択肢：摂氏 / 華氏 デフォルト値は、摂氏です。
閾値	本製品の許容温度を設定できます。 選択範囲：45～120℃（摂氏の場合） / 122～212F（華氏の場合） デフォルト値は、60℃（摂氏の場合） / 150F（華氏の場合）
温度	現在の本製品の温度を表示します。

3-6 録画

3-6-1 録画設定

セットアップ > 録画 > 管理

マイクロ SD カードへの記録に関する設定ができます。

本製品へのマイクロ SD カードの挿入方法については、「1-7 マイクロ SD カードについて」をご覧ください。

録画設定

録画グローバル設定

ターゲットストリーム NONE

保存

録画リスト

名前	有効	ファイルタイプ	ストレージ	連続
RECORD0	X	TS	SD Card	Off
RECORD1	X	TS	SD Card	Off

変更

【 録画グローバル設定 】

録画時に適用するストリームを選択できます。

選択肢 : NONE / Channel1 / Channel2

- NONE : マイクロ SD カードへの記録を行いません。
- Channel1 : ストリーム 1 でマイクロ SD カードへの記録を行います。
ストリーム 1 の設定状況は、「ビデオ設定」でご確認ください。
- Channel2 : ストリーム 2 でマイクロ SD カードへの記録を行います。
ストリーム 2 の設定状況は、「ビデオ設定」でご確認ください。

※マイクロ SD カードへの記録を行う場合は、「Channel1 / Channel2」を選択してください。

【 録画の有効化手順 】

以下の手順で、マイクロ SD カードへの記録を設定できます。

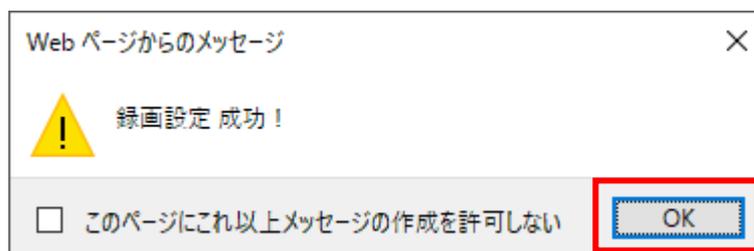
1. 「録画グローバル設定」の「ターゲットストリーム」を「Channel1」または「Channel2」を選択します。



2. 「保存」をクリックし、設定を保存します。



3. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



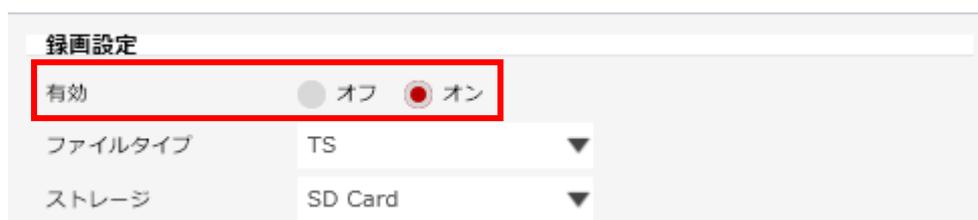
4. 「録画リスト」欄のうち設定を行うストレージをクリックします。
※選択した項目は赤色で表示されます。



5. 「変更」をクリックします。
※詳細設定画面に切り替わります。



6. 「有効」欄の「オン」をクリックします。



録画設定	
有効	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
ファイルタイプ	TS ▼
ストレージ	SD Card ▼

※「ファイルタイプ」及び「ストレージ」は変更できません。

7. 常時、マイクロ SD カードに記録する場合は、「連続」欄の「オン」をクリックします。



連続	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
プリ時間	5 [0 ~ 5]
ポスト時間	5 [1 ~ 240]

※「オン」の場合、マイクロ SD カードには 5 分毎の記録データを書き込みます。

※「オフ」の場合、「プリ時間」及び「ポスト時間」で設定した時間分マイクロ SD カードに記録データを書き込みます。

プリ時間 : 0~5 秒

ポスト時間 : 1~240 秒 の間で設定ができます。

8. 画面下の「保存」をクリックして、設定を保存します。



保存	キャンセル
----	-------

【 トリガー動作とイベントルールの連動手順 】

以下の手順で、イベント発生時に録画や FTP サーバーへの情報送信設定ができます。

1. 「動作ルール設定」にて、イベント発生時の動作を設定します。

動作ルールの設定手順については、「3-4-1 動作ルール設定」をご覧ください。



名前	動作予約	動作
NewAction	1 / 5	RECORD

2. 「イベントルール」にて、録画や FTP サーバーへの転送などを実行する条件を設定します。

イベントルールの設定手順については、「3-5-1 イベントルール設定」をご覧ください。



名前	イベント予約	スケジュール	動作
NewRule	モーション検知	Always	NewAction

3. 「ストレージ設定」にて、本製品に挿入したマイクロ SD カードをマウントします。
マウントについては、「3-6-3 ストレージ設定」をご覧ください。

ストレージ設定

通知

1. SD カードが自動的にマウントされない場合は、SD カードをマウントするためにフォーマットする必要があります。

ストレージリスト

名前	搭載	サイズ	使用率 (%)	使用可能
sdcard0	○	59.4G	0%	59.4G

4. イベント発生時に録画を行う場合、「録画設定」にてマイクロ SD カードへの書き込みを有効化します。
マイクロ SD カードへの書き込みの有効化については、「3-6-1 録画設定」をご覧ください。

録画設定

録画グローバル設定

ターゲットストリーム Channel1

保存

録画リスト

名前	有効	ファイルタイプ	ストレージ	連続
RECORD0	○	TS	SD Card	On
RECORD1	X	TS	SD Card	Off

変更

以上で設定は完了です。

3-6-2 録画リスト

セットアップ > 記録 > 記録リスト

マイクロ SD カード内に保存されている記録データを再生できます。

録画リスト

フィルター

日付 2017-02-24 ~ 2017-02-24

時刻 0 0 0 ~ 0 0 0

イベント 全て

ストレージ 全て

ソート 昇順

リフレッシュ フィルター

イベント

日	時刻	時間	イベント
2017/02/23	09:48:45	02:26	On Continuous
2017/02/23	09:47:49	-	On Continuous
2017/02/23	09:42:48	05:00	On Continuous
2017/02/23	09:37:47	05:00	On Continuous
2017/02/23	09:32:46	05:00	On Continuous
2017/02/23	09:27:45	05:00	On Continuous
2017/02/23	09:22:44	05:00	On Continuous
2017/02/23	09:17:43	05:00	On Continuous

再生 削除 ダウンロード

【 フィルター 】

項目	内容
日付	設定した期間に存在する記録データのみ表示できます。 設定する場合は、「日付」ボックスをクリックしてください。
時刻	設定した時間帯に存在する記録データのみ表示できます。 設定する場合は、「時刻」ボックスをクリックしてください。
イベント	選択したイベントに該当する記録データのみ表示できます。 選択肢：連続 / モーション / スケジュール / ネットワーク接続停止 設定する場合は、「イベント」ボックスをクリックしてください。 イベントの設定手順については、「3-5 イベント」をご覧ください。
ストレージ	選択したストレージ内に保存されている記録データのみ表示できます。 本製品では、「SD カード」のみ選択できます。 設定する場合は、「ストレージ」ボックスをクリックしてください。

項目	内容
ソート	保存されている記録データを日付・時刻をもとに並び替えて表示できます。 選択肢：昇順 / 降順 設定する場合は、「ソート」ボックスをクリックしてください。

【 リフレッシュとフィルター 】

リフレッシュ：録画リストに表示されている並びをリセットし、初期設定の並びに戻します。

フィルター：「フィルター」欄で設定した条件範囲に一致する記録データのみを表示します。

【 イベント 】

マイクロ SD カード内に保存されている記録データを表示します。

フィルター設定により、保存されている記録データのうち、必要なデータのみを表示することができます。

また、選択した記録データを再生、ダウンロードすることができます。

【 記録データの再生手順 】

以下の手順で、記録データを再生できます。

1. 「イベント」欄に表示されている記録データリストのうち再生したいデータをクリックします。
※選択した記録データは、赤色で表示されます。

イベント			
日	時刻	時間	イベント
2017/02/22	13:09:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:59:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:49:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:39:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:29:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:19:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:09:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	11:59:55	04:05	On Schedule

2. 画面右下の「再生」をクリックします。



3. 選択した記録データの再生が開始されます。



項目	内容
トークン	記録データの番号を表示します。
状態	記録データの状態を表示します。 録画 : 現在録画中の記録データです。 完了 : 正常に録画が完了した記録データです。 エラー : 途中で記録を中断した記録データです。
開始時間	記録データの開始時刻を表示します。
終了時間	記録データの終了時刻を表示します。
録画時間	記録データの長さを表示します。

「戻る」をクリックすると、記録データリスト画面に戻ります。

【 記録データのバックアップ手順 】

以下の手順で、記録データをバックアップすることができます。

1. 「イベント」欄で表示されている記録データリストのうちバックアップしたいデータをクリックします。
※選択した記録データは、赤色で表示されます。

日	時刻	時間	イベント
2017/02/22	13:09:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:59:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:49:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:39:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:29:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:19:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	12:09:55	04:05	On Schedule
2017/02/22	11:59:55	04:05	On Schedule

2. 画面右下の「ダウンロード」をクリックします。



3. 「保存」をクリックして、バックアップを開始します。



4. バックアップした記録データは、「Windows Media Player」や「VLC Media Player」などで再生できます。

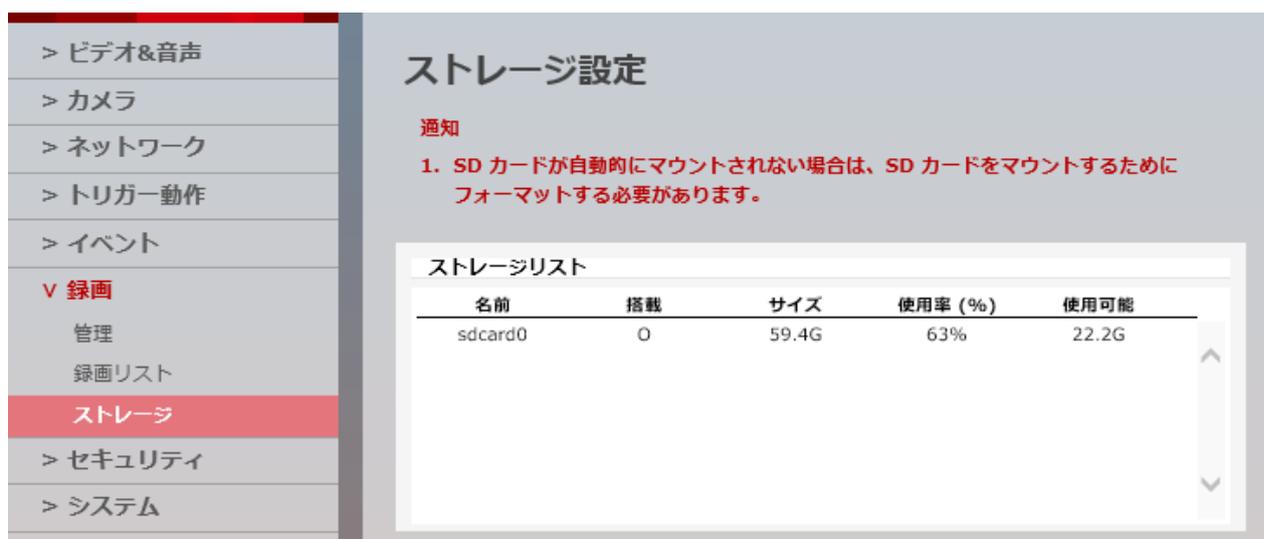
3-6-3 ストレージ設定

セットアップ > 記録 > ストレージ

本製品へのマイクロ SD カードのマウントやフォーマット作業ができます。

あらかじめ、マイクロ SD カードを挿入しておく必要があります。

マイクロ SD カードの挿入手順については、「1-7 マイクロ SD カードについて」をご覧ください。



【 ストレージリスト 】

項目	内容
名前	マウントされているマイクロ SD カードの名称を表示します。
搭載	本製品に搭載されているマイクロ SD カードが使用可能かを確認できます。 ○ : 本製品にマウントされており、使用可能な状況です。 × : 本製品にマウントされておらず、使用できない状態です。 マイクロ SD カードをマウントする場合は、フォーマットを行う必要があります。
サイズ	マウントされているマイクロ SD カードの総容量を表示します。
使用率	現在のマイクロ SD カードの容量使用率を表示します。
使用可能	現在のマイクロ SD カードの残り容量を表示します。

【 ストレージ詳細画面への移動 】

「ストレージリスト」内のストレージをクリックすると、詳細画面に切り替わります。

ストレージリスト				
名前	搭載	サイズ	使用率 (%)	使用可能
sdcard0	0	59.4G	3%	57.4G

- > ビデオ&音声
- > カメラ
- > ネットワーク
- > トリガー動作
- > イベント
- > **記録**
- 管理
- 記録リスト
- > **ストレージ**
- > セキュリティ
- > システム

ストレージ設定

通知

1. SD カードが自動的にマウントされない場合は、SD カードをマウントするためにフォーマットする必要があります。

SD CARD0

ストレージサイズ 2.0G / 59.4G

自動削除 NONE

上書き オフ オン

アンマウント アンマウ
ント

フォーマット フォーマ
ット

適用
キャンセル

項目	内容
ストレージサイズ	選択したストレージの 現在の使用容量 / 総容量 を表示します。
自動削除	保存している記録データの保持期間を設定できます。 選択肢 : NONE / 1Day / 7Day / 15Day / 1Month 例 : 「1Day」を選択した場合、1 日ごとにマイクロ SD カード内の記録データを全て削除します。 初期値は、「NONE」です。
上書き	マイクロ SD カードの容量が一杯になった際に、古い記録データを削除しながら新しい記録データを上書き記録します。 選択肢 : オフ / オン 上書き機能を有効にする場合は、「オン」をクリックしてください。 初期値は、「オフ」です。
アンマウント	本製品に搭載されているマイクロ SD カードの接続を解除します。 本製品からマイクロ SD カードを取り出す場合は、必ずアンマウントしてください。 アンマウントせずに取り出すと、記録データの破損に繋がります。
フォーマット	本製品でマイクロ SD カードを使用可能な状態にします。 マイクロ SD カードへの記録を行う場合は、必ず、フォーマットしてください。

3-7 セキュリティ

3-7-1 IP アドレスフィルター設定

セットアップ > セキュリティ > IP アドレスフィルター

本製品にアクセスできる IP アドレスを制限できます。

【 一般設定 】

項目	内容
IP アドレス フィルター	IP アドレスフィルター機能の 有効 / 無効 を設定できます。 選択肢： オン / オフ フィルター機能を使用する場合は、「オン」をクリックしてください。
IP フィルタータイプ	登録したアドレスからのアクセスの 許可 / 拒否 を設定できます。 選択肢： 許可 / 拒否 <ul style="list-style-type: none">許可：登録したアドレスのみアクセスが可能になります。拒否：登録したアドレスのみアクセスが不可能になります。

【 フィルターされる IP アドレス 】

フィルター対象となっている IP アドレスが表示されます。

【 IP アドレス 】

登録する IP アドレスを入力できます。

【 IP アドレスフィルター設定手順 】

以下の手順で、アドレスを登録し、フィルター設定ができます。

1. 画面右下の「IP アドレス」欄に登録したい IP アドレスを入力します。

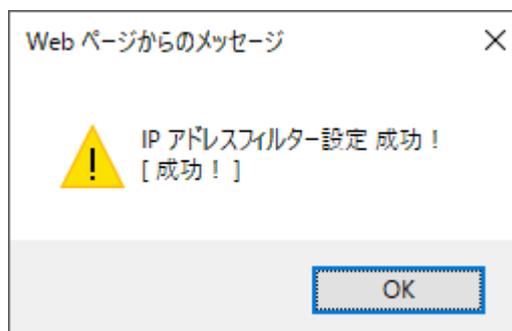


2. 「追加」をクリックします。

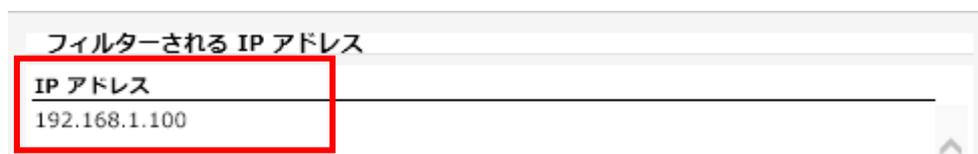


※複数のアドレスを登録する場合は、追加をクリック後、再度手順 1→2 を行ってください。

3. 設定成功のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



4. 「フィルターされる IP アドレス」欄に登録されていることを確認します。



5. 「一般設定」欄の「IP フィルタータイプ」を設定します。



- 許可 : 登録した IP アドレスのみ本製品へのアクセスが可能になります。
- 拒否 : 登録した IP アドレスのみ本製品へのアクセスが不可能になります。

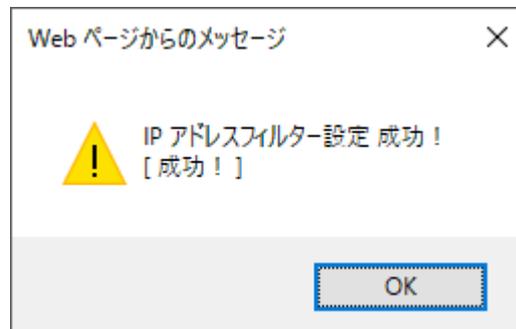
6. 「IP アドレスフィルター」の「オン」をクリックします。



7. 「適用」をクリックし、設定を保存します。



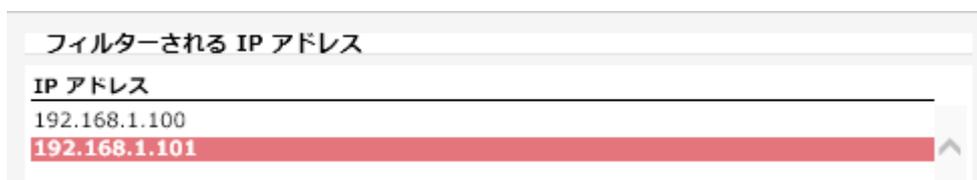
8. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックして完了です。



【 登録済みアドレスの削除手順 】

以下の手順で、フィルター登録されている IP アドレスを削除できます。

1. 「フィルターされる IP アドレス」欄のうち、削除したいアドレスをクリックします。

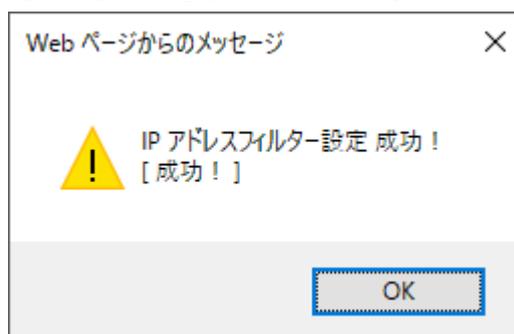


※選択中のアドレスは、赤色で表示されます。

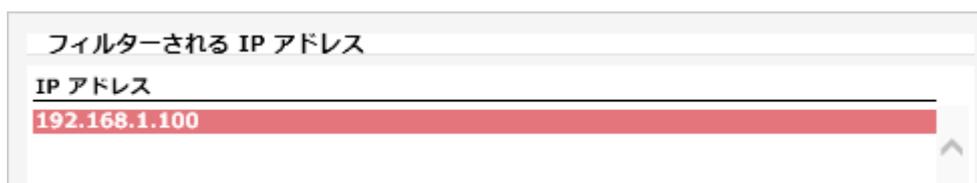
2. 「削除」をクリックします。



3. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックして完了です。



4. 「フィルターされる IP アドレス」欄から削除されていることを確認してください。



3-7-2 RTSP 認証設定

セットアップ > セキュリティ > RTSP 認証

RTSP 認証の有効または無効を設定できます。



項目	内容
RTSP 認証	認証機能の 有効 / 無効 を設定できます。 選択肢： 有効にする / 無効にする RTSP ストリームのアクセス時に ID とパスワードの認証を利用する場合は、「有効にする」をクリックしてください。

※本機能は、カメラへの不正アクセス防止のため、「有効にする」に設定してください。

3-8 システム

3-8-1 システム情報

セットアップ > システム > システム情報

本製品の製品情報を確認できます。

システム情報	
デバイス名	IP-Camera
適用	
型式名	N5F4-ALAH2
メーカー	IPNC
最大解像度	1080p
最大フレームレート	30 fps
フォトレジスタ (CDS)	対応
アラーム入力	非対応
リレー出力	非対応
音声	非対応
光学ズーム	X4
デジタルズーム	非対応
PTZ	非対応

【 デバイス名 】

本製品のデバイス名を変更することができます。

設定変更後は、適用をクリックして設定を保存してください。

デバイス名	IP-Camera
-------	-----------

3-8-2 ファームウェア更新

セットアップ > システム > ファームウェア更新

本製品のファームウェア情報の確認、更新ができます。

The screenshot shows the 'ファームウェア更新' (Firmware Update) page. On the left is a navigation menu with 'システム' (System) selected. The main content area has a title 'ファームウェア更新' and three numbered instructions in red text. Below the instructions are two sections: 'バージョン情報' (Version Information) with a table of system and camera versions, and 'ウェブ更新' (Web Update) with a 'ファームウェアファイル' (Firmware File) label and a 'ファイル選択' (File Selection) button. At the bottom right is a 'ファームウェア更新を開始' (Start Firmware Update) button.

バージョン情報	
システム	2016.10.13_A1.0.6
カメラ	16.42

【 バージョン情報 】

本製品のシステムファームウェアバージョンを確認できます。

【 ウェブ更新手順 】

以下の手順で、本製品のファームウェアの更新ができます。

※ファームウェアアップデート後は、全ての設定が初期化されます。

1. 「ファイル選択」をクリックし、最新ファームウェアを選択します。

This close-up shows the 'ウェブ更新' section. The 'ファームウェアファイル' label is followed by a red 'ファイル選択' button, which is highlighted with a red box.

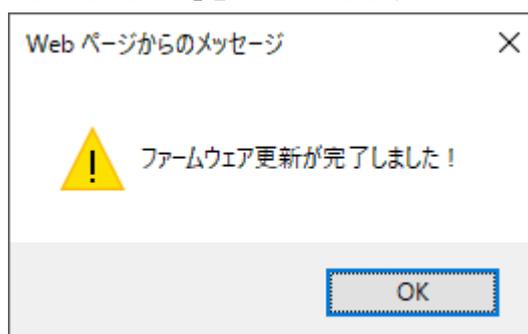
2. ファイルを選択後、「ファームウェア更新を開始」をクリックします。

This close-up shows the 'ウェブ更新' section after file selection. The 'アップグレードを進める準備ができました。アップグレードを開始ボタンをクリックしてください。' (Upgrade preparation is complete. Please click the start upgrade button.) message is displayed. Below it, the 'ファームウェア更新を開始' button is highlighted with a red box.

3. 確認画面が表示されたら「OK」をクリックし、更新を開始します。
4. ファームウェア更新中は、以下の点に注意してください。
 - 更新中に電源をオフにしないでください。致命的なシステムダメージの原因になる可能性があります。
 - ファームウェアファイルをアップデート中に、エクスプローラーが異常終了した場合、または、ユーザーが誤ってエクスプローラーを終了した場合は、30 秒後に再試行してください。
 - ファームウェアファイルの更新中に他のメニューを選択しないでください。



5. 更新完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



6. ファームウェアアップデートが完了後、本製品は自動的に再起動を行います。

3-8-3 日付と時刻の設定

セットアップ > システム > 日付と時刻の設定

本製品のタイムゾーンや日付と時刻の設定ができます。

日付と時刻の設定

タイムゾーン設定

タイムゾーン (GMT+09) Seoul, Osaka, Tokyo ▼

適用

現在の日付と時刻

日付 2017-02-23

時刻 11:35:34

新しいカメラの日付と時刻

使用しているコンピューターと同期

日付 2017-02-23

時刻 11:35:34

手動でセットアップ

日付 2005 ▼ 01 ▼ 01 ▼

時刻 00 ▼ 00 ▼ 00 ▼

タイムサーバーと同期 (NTP)

NTP サーバー time-a.nist.gov ▼

適用

【 タイムゾーン設定 】

タイムゾーンを設定できます。

日本でお使いの場合は、「(GMT+09) Seoul, Osaka, Tokyo」を選択してください。

【 現在の日付と時刻 】

現在の本製品に設定されている日付と時刻を表示します。

【 新しいカメラの日付と時刻 】

本来の時刻とずれているなど、新しく時刻設定を行う場合、以下の方法で時刻を設定できます。

- 使用しているコンピューターと同期
本製品にアクセスしているクライアント PC と同じ時刻を設定します。
- 手動でセットアップ
手動で、日付と時刻を設定できます。
- タイムサーバーと同期 (NTP)
NTP (タイム) サーバーにアクセスし、時刻同期を行います。
選択肢のうち、「Manual」をクリックした場合、NTP サーバーアドレスを手動で設定できます。

NTP サーバーとの同期を行う場合、インターネット接続またはローカル NTP サーバーへのアクセスが必要になります。

3-8-4 DST 設定

セットアップ > システム > DST 設定

サマータイムの設定ができます。

DST 設定

一般設定

オフ オン

日付と時刻の設定

開始時刻 1月 第1週 日 0 時

終了時刻 1月 第1週 日 0 時

適用

項目	内容
一般設定	DST 機能の 有効 / 無効 を設定できます。 選択肢 : オフ / オン サマータイムを設定する場合は、「オン」をクリックしてください。
日付と時刻の設定	サマータイムの開始日時と終了日時を設定できます。

3-8-5 ユーザー管理

セットアップ > システム > ユーザー管理

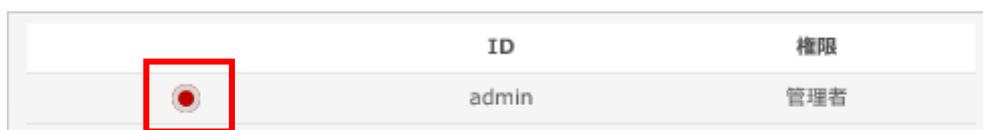
ログイン時のパスワードの変更やユーザーの追加・権限の設定ができます。



【 パスワードの変更手順 】

以下の手順でパスワードを変更できます。

1. 登録されているユーザーのうち、変更するユーザーをクリックします。



2. 「変更」をクリックします。



3. 「パスワード」および「認証」欄に新しく設定するパスワードを入力します。

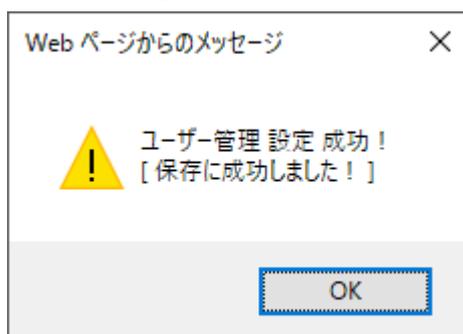
※パスワードは、6文字～30文字で設定してください。

※「認証」欄には、「パスワード」欄で新しく入力した文字と同じ文字を入力してください。

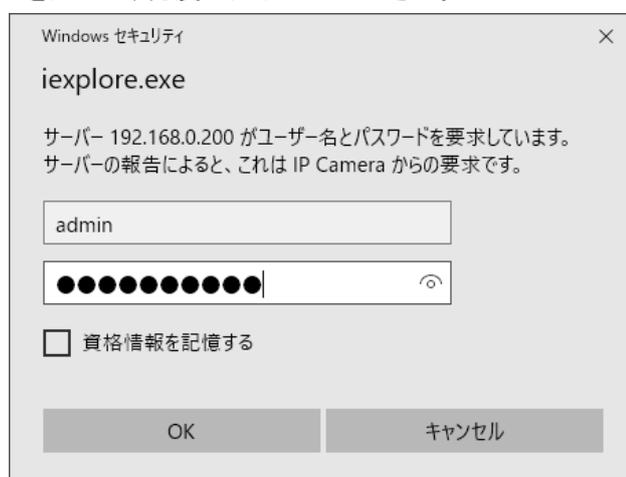
4. 「適用」をクリックします。



5. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



6. パスワードを変更後、自動的にログアウトします。
新しく設定したパスワードを入力し、再度ログインしてください。



再度、ログインができれば、パスワード変更は完了です。

【 ユーザー追加手順 】

以下の手順で新しくユーザーを追加できます。

1. 「追加」をクリックします。



※ユーザー追加設定画面に切り替わります。



2. 以下の項目に新しく登録するユーザーの情報を入力します。

- ID : ユーザーID を入力します。
- パスワード : ログイン時のパスワードを入力します。
- 認証 : 「パスワード」で入力した文字を再度入力します。
- ユーザー権限 : 新しく登録するユーザーが行える操作を選択します。

選択肢 : オペレーター / ビューワー

オペレーター : カメラ設定など全ての操作が可能です。

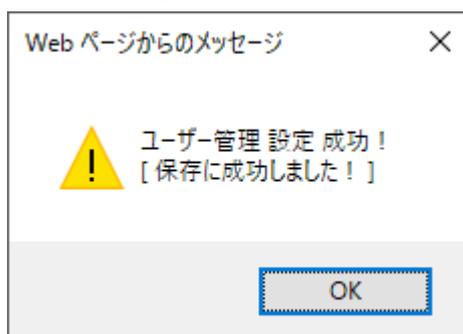
ビューワー : ライブ画面のみ閲覧が可能です。



3. 「適用」をクリックします。



4. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



5. ユーザー管理画面で新しく追加されていることを確認します。

	ID	権限
<input type="radio"/>	admin	管理者
<input checked="" type="radio"/>	testuser1	ビューワー

【 ユーザー設定変更手順 】

以下の手順で、登録済みのユーザーの設定を変更できます。

※「admin」は変更できません。

1. ユーザー一覧から変更したいユーザーをクリックします。

	ID	権限
<input type="radio"/>	admin	管理者
<input checked="" type="radio"/>	testuser1	ビューワー

2. 「変更」をクリックします。



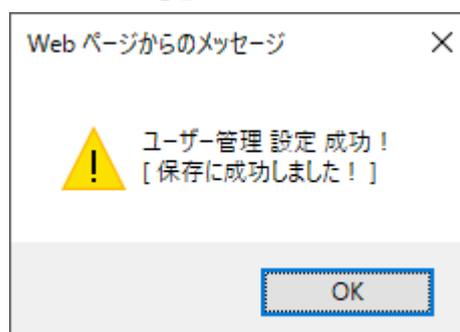
3. 変更したい項目をクリックして、新しく設定を入力します。

ID	testuser1
パスワード	●●●●●●●●
認証	●●●●●●●●
ユーザー権限	ビューワー ▼

4. 「適用」をクリックします。



5. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックして完了です。



【 ユーザー削除手順 】

以下の手順で、登録済みのユーザーを削除できます。

※「admin」は削除できません。

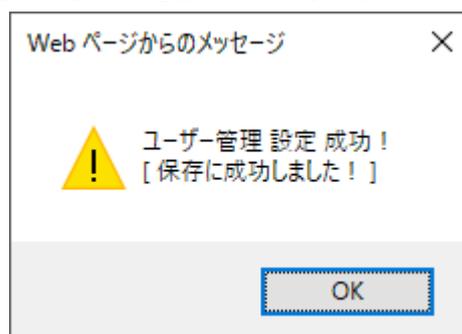
1. ユーザー一覧から削除したいユーザーをクリックします。

	ID	権限
<input type="radio"/>	admin	管理者
<input checked="" type="radio"/>	testuser1	ビューワー

2. 「削除」をクリックします。



3. 設定完了のメッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。



4. ユーザー一覧から、削除されていることを確認します。

	ID	権限
<input checked="" type="radio"/>	admin	管理者

The screenshot shows the user management interface after the deletion of 'testuser1'. The 'admin' user is now the only entry in the list, and its radio button is selected. Below the table, the '削除' button is highlighted with a red rectangular box.

3-8-6 システムログ

セットアップ \ システム \ ログ

本製品の設定変更履歴やイベント履歴などのログを確認できます。

日付と時刻	ログ	IP
2017/02/23-13:37:19	モーションが検知されました：オフ	system
2017/02/23-13:37:16	モーションが検知されました：オン	system
2017/02/23-13:31:15	モーションが検知されました：オフ	system
2017/02/23-13:31:07	モーションが検知されました：オン	system
2017/02/23-13:29:48	モーションが検知されました：オフ	system
2017/02/23-13:29:39	モーションが検知されました：オン	system
2017/02/23-13:29:19	モーションが検知されました：オフ	system
2017/02/23-13:28:26	モーションが検知されました：オン	system
2017/02/23-13:24:25	モーションが検知されました：オフ	system

【 フィルター 】

項目	内容
日付	設定した期間に存在するログのみ表示できます。 設定する場合は、「日付」ボックスをクリックしてください。
時刻	設定した時間帯に存在するログのみ表示できます。 設定する場合は、「時刻」ボックスをクリックしてください。
タイプ	選択した動作に該当するログのみ表示できます。 選択肢：全て / イベント / 例外 / 操作 / 情報 <ul style="list-style-type: none">全て：保存されているログを全て表示します。イベント：発生したイベントログのみ表示します。例外：ビデオログが発生した際のログのみ表示します。操作：カメラの各種設定を行った際のログのみ表示します。

	<ul style="list-style-type: none">• 情報 : 本製品のシステム情報が変更された際のログのみ表示します。
	保存されているログを日付・時刻をもとに並び替えて表示できます。
ソート	選択肢 : 昇順 / 降順
	設定する場合は、「ソート」ボックスをクリックしてください。

【 リフレッシュとフィルター 】

リフレッシュ : 録画リストに表示されている並びをリセットし、初期設定の並びに戻します。

フィルター : 「フィルター」欄で設定した条件範囲に一致する記録データのみを表示します。

【 リスト 】

本製品に保存されているログを表示します。

フィルター設定により、保存されているログのうち、必要なログのみを表示することができます。

3-8-7 言語

セットアップ > システム > 言語

本製品の表示言語を設定できます。



「言語」欄をクリックすると、表示言語を選択できます。

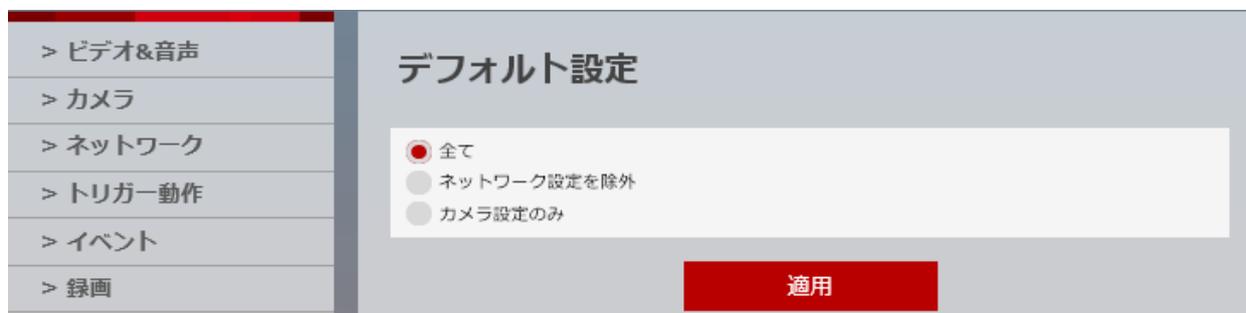
選択肢：英語 / 韓国語 / 日本語

本製品を工場出荷状態にリセットや、ファームウェアの更新を行った際は、言語が「英語」になります。
言語の設定変更については、「2-5 言語の変更」をご覧ください。

3-8-8 デフォルト設定

セットアップ > システム > 工場出荷時設定にリセット

本製品を工場出荷時状態にリセットできます。



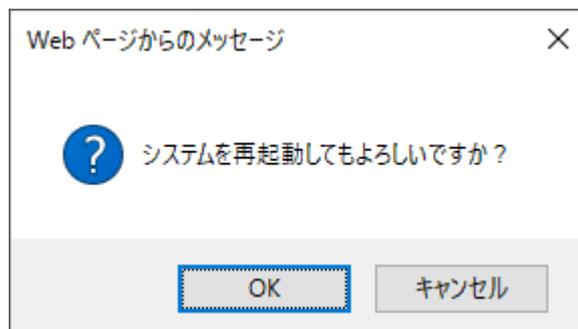
項目	内容
全て	本製品の全ての設定値を工場出荷時の状態にリセットします。
ネットワーク設定を除外	本製品のネットワーク設定以外の設定値を工場出荷時の状態にリセットします。
カメラ設定のみ	本製品のカメラ設定のみ工場出荷時の状態にリセットします。

3-8-9 再起動

セットアップ > システム > 再起動

本製品を再起動します。

画面左側の「再起動」をクリックすると、確認メッセージが表示されます。



再起動を実行する場合は、「OK」をクリックします。

※再起動が完了するのに、約3分かかります。

4章 工場出荷時の設定一覧

本製品の工場出荷時の設定は以下のようになっています。

階層	設定項目	初期設定値
ビデオ&音声 > ビデオ > コーデック	コーデック	H.264(ストリーム 1 / 2) MJPEG(ストリーム 3)
	説明	channel1(ストリーム 1) channel2(ストリーム 2) channel3(ストリーム 3)
	解像度	1920*1080(ストリーム 1) 352*240(ストリーム 2) 768*482(ストリーム 3)
	フレームレート(FPS)	5(ストリーム 1 / 2 / 3)
	GOP	5(ストリーム 1 / 2 / 3)
	プロファイル	高(ストリーム 1 / 2)
	スマートビットレート制御	オフ(ストリーム 1 / 2)
	ビットレートモード	可変ビットレート (ストリーム 1 / 2)
	ターゲットビットレート	1536(ストリーム 1) 2048(ストリーム 2)
	品質	5(ストリーム 1 / 2 / 3)
ビデオ&音声 > オンスクリーン表示	日付と時刻	オフ
	位置 X	0
	位置 Y	0
	ユーザーテキスト	オフ
	位置 X	0
	位置 Y	0
	テキスト	入力なし
ビデオ&音声 > 関心領域	ストリーム	Channel1
	アクティベーション	無効にする
	品質	50%
ビデオ&音声 > プライバシーマスク	アクティベーション	オフ
	エリア	エリア 1

階層	設定項目	初期設定値
カメラ > 画像調整	シャープネス	55
	輝度	50
	コントラスト	50
	彩度	25
	色相	50
カメラ > 露光設定	オート露光	オン
	露光レベル	128
	オート露光計測	中央
	シャッタースピード	1/30
	スローシャッター	Off
	ゲインリミット	44dB
カメラ > デイ&ナイト設定	デイ&ナイト	オート
	色レベル	5
	B/W レベル	5
	移行時間	昼間
	デイ→ナイト	19:00
	ナイト→デイ	5:00
カメラ > 逆光設定	WDR	オフ
	WDR レベル	通常
カメラ > ホワイトバランス	アクティベーション	オン
	ホワイトバランスモード	オート
	R ゲイン	1500
	G ゲイン	1024
	B ゲイン	1400
カメラ > 画像処理	3D ノイズリダクション	1
	ミラー	オフ
	フリップ	オフ
カメラ > ビデオ処理	フリッカレス	60Hz
ネットワーク > ネットワーク設定	ネットワークタイプ	動的
	IP アドレス	192.168.1.80
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
	優先 DNS サーバー	168.126.63.1
	代替 DNS サーバー	168.126.63.2
	HTTP ポート	80
HTTPS ポート	443	

階層	項目	初期設定値
ネットワーク > ネットワーク設定	RTSP ポート	554
ネットワーク > 自動 IP	一般設定	オン
ネットワーク > ONVIF	認証	WS-Usertoken + Digest
	検出モード	検出可能
ネットワーク > UPNP	一般設定	オフ
	フレンドリー名	N5F4-ALAH2
ネットワーク > DDNS		無効にする
ネットワーク > FTP	一般設定	オフ
ネットワーク > SMTP	一般設定	オフ
	モード	PLAIN
	ポート	25
ネットワーク > SNMP > SNMP v1/v2c	SNMPv1	オフ
	SNMPv2c	オフ
	コミュニティを読み込み	public
	コミュニティを書き込み	private
	SNMPトラップ	オフ
	トラップアドレス	0.0.0.0
	トラップコミュニティ	public
ネットワーク > SNMP > SNMP v3	モード	読み込み
	アクティベーション	オフ
	読み込み名	root
	セキュリティレベル	auth 無し、priv 無し
	認証アルゴリズム	MD5
	秘密鍵アルゴリズム	DES
ネットワーク > RTSP 情報	ターゲットストリーム	チャンネル 1
	タイムアウト	0
	マルチキャスト	オフ
	IP	0.0.0.0
	ポート	0
	TTL	0
トリガー動作 > 画像転送	画像の数	2
	プリアラーム時間	3
	ポストアラーム時間	3
イベント > スケジュール	モード	無効にする
	繰り返しルール	5 分毎

階層	項目	初期設定値
イベント > モーション	エリア	モーションエリア 1
	アクティベーション	有効にする
	感度	70
イベント > 温度	モード	華氏
	閾値	150
録画 > 管理	ターゲットストリーム	NONE
録画 > 録画リスト > フィルター	時刻	0:0:0~0:0:0
	イベント	全て
	ストレージ	全て
	ソート	昇順
セキュリティ > IP アドレスフィルター	IP アドレスフィルター	オフ
	IP フィルタータイプ	許可
セキュリティ > RTSP 認証	RTSP 認証	有効にする
セキュリティ > IEEE802.1X 設定	IEEE802.1x	オフ
	プロトコル	MD5
	EAPOL バージョン	1
	CA 証明書	無し
	証明書	無し
セキュリティ > HTTPS	証明書	NONE
	管理者	HTTP and HTTPs
	オペレーター	HTTP and HTTPs
	ビューワー	HTTP and HTTPs
セキュリティ > サービス	テルネット	無効にする
システム > システム情報	デバイス名	IP-Camera
システム > 日付と時刻の設定	タイムゾーン	GMT00
	新しいカメラの日付と時刻	手動でセットアップ
システム > DST 設定	一般設定	オフ
	開始時刻	1 月第 1 週日 0 時
	終了時刻	1 月第 1 週日 0 時
システム > ログ	時刻	0:0:0~0:0:0
	タイプ	全て
	ソート	降順
システム > 言語	言語	日本語
システム > 工場出荷時設定にリセット		全て

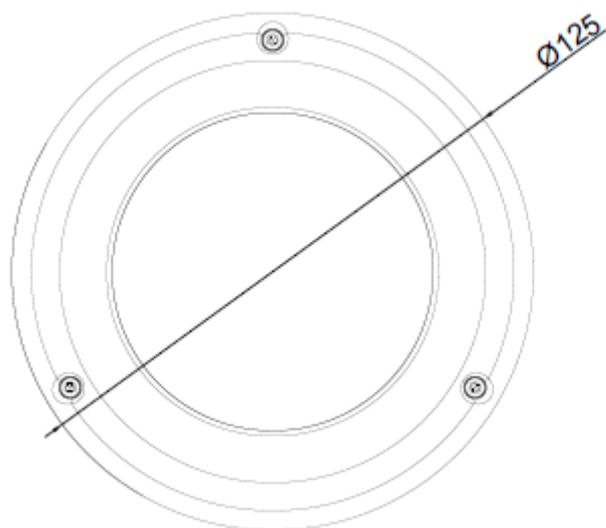
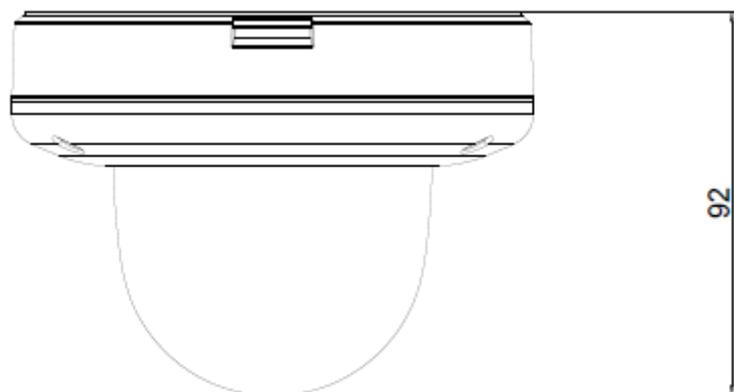
5章 製品仕様

品名	ドーム型 IP カメラ(バンドルプルーフ)	
撮像素子	1/2.7 型 CMOS センサー(SONY)	
出力端子	RJ-45(10/100BASE-T)	
電源電圧	PoE(IEEE802.3af) / DC12V	
DC12V 入力電圧	DC ジャック	
最大消費電力	電動ズーム動作時 : 7.5W / LED 照射時 : 4.2W / LED 非照射時 : 2.5W	
外径寸法	125(φ) * 92(高さ) mm	
重量	約 850g	
動作温度(湿度)	-20°C~+50°C(10~90% ただし結露なきこと)	
有効画素数	1920 * 1080 (約 200 万画素)	
全画素数	1928 * 1088	
映像圧縮方式	H.264 / MJPEG	
フレームレート	1~30FPS	
レンズマウント	-	
レンズ焦点距離	2.8~12mm(電動ズームレンズ)	
撮像角度	ワイド端	水平 : 約 106° / 垂直 : 約 55°
	テレ端	水平 : 約 32° / 垂直 : 約 20°
F 値	F1.4	
赤外線 投光器	投光距離	約 20m
	投光角度	約 60°
最低被写体照度	カラー : 0.12lx / 赤外線照射時 : 0lx	
電子シャッター	オート、1/30~1/32000 秒	
ワイドダイナミックレンジ (WDR)	OFF、ON	
AGC	OFF、25~400	
フリッカレス	50Hz、60Hz	
デイ&ナイト	オート(ICR 開閉)、カラー固定、モノクロ固定、スケジュール	
ホワイトバランス	オート、色温度、シチュエーション、マニュアル	
SENSUP	OFF、x2~x10	
ノイズ除去(3DNR)	0~+11	
プライバシーマスク	OFF、ON(最大 4 箇所)	
動体検知	OFF、ON(最大 4 箇所)	
画像反転	OFF、水平、垂直、回転	
調整用モニター出力	-	

音声入出力	-
音声圧縮方式	-
アラーム入出力	-
イベント	モーション、ネットワーク接続停止、スケジュール、温度
アクション	FTP、Eメール、SDカード記録
カードスロット	MicroSD / SDHC / SDXC
最大伝送距離	100m(LAN ケーブル)
保護等級	IP66
原産国	韓国
付属品	特殊形状レンチ、簡易取扱説明書、CD-ROM、テンプレート紙、 LAN ケーブル保護キャップ、取付ボルト・ナット、 タッピングビス、アンカー

※仕様は改良の為、予告なく変更することがあります。

6章 外形寸法



単位:[mm]